

## 第20期 第1回町田市立図書館協議会次第

■日 時:2023年8月8日(火) 14:00~16:00

■場 所:町田市立中央図書館 6階中集会室

■次 第:(括弧内は想定タイムテーブル)

1. 図書館長挨拶(14:00~)
2. 委員自己紹介
3. 委員長・副委員長の選任及び挨拶
4. 町田市生涯学習審議会委員の推薦【資料4】(~14:20)
5. 図書館からの報告事項【資料5】(14:20~14:35)
6. 若者の利用促進について【資料6】(14:35~14:50)
7. 図書館評価について【資料7】(14:50~15:55)
8. その他(15:55~16:00)

### 【次回開催予定】

・日 時:2023年10月6日(金)14:00~16:00

・場 所:町田市立中央図書館 6F 中集会室

## 町田市立図書館協議会 第 20 期委員名簿

任期（2023年8月4日～2025年7月31日）

選出区分	氏 名	所 属	備考
1号学識経験を有する者	まつもと なおき 松本 直樹	慶應義塾大学 文学部 准教授	3期目
〃	なかむら たくま 仲村 拓真	山口県立大学国際文化学部 文化創造学科 講師	2期目
2号学校教育の関係者	かじの あきのぶ 梶野 明信	木曾中学校校長	3期目
〃	やまなか ろう 山中 朗	つくし野小学校長	新任
3号社会教育の関係者	なかがわ ひな 中川 妃菜	公益社団法人 相模原・町田大学地域コン ソーシアム	新任
〃	ふくだ ゆみこ 福田 有美子	一般社団法人 つるかわ子どもこもんず	2期目
〃	たかはし みねこ 高橋 峰子	NPO法人 まちだ語り手の会	新任
〃	よしだ かずお 吉田 和夫	社会教育委員	3期目
〃	にがわら よういち 二川原 陽一	図書館障がい者サービス ボランティア	新任
4号家庭教育の向上に資 する活動を行う者	わかいろ なおみ 若色 直美	NPO法人子ども広場 あそべこどもたち	4期目

## 町田市立図書館協議会 第20期 定例会日程表

(任期:2023年8月4日～2025年7月31日)

- 場所 中央図書館6階ホール又は中集会室  
※行事等で中央図書館が使用不可の場合、会場を変更することがあります。
- 開催時間 第1回～第4回については各日14時～16時を予定しています。
- 開催数 各年度5回(合計 10回)  
※定例会日程は、図書館行事及びその他の理由で変更となる場合があります。

	年	月	日	曜	会場(予定)
第1回定例会	2023年	8月	8日	(火)	中央図書館 6階 中集会室
第2回定例会		10月	6日	(金)	中央図書館 6階 中集会室
第3回定例会		11月	21日	(火)	中央図書館 6階 ホール
第4回定例会	2024年	1月	26日	(金)	中央図書館 6階 中集会室
第5回定例会	以降未定	月	日	( )	
第6回定例会		月	日	( )	
第7回定例会		月	日	( )	
第8回定例会		月	日	( )	
第9回定例会		月	日	( )	
第10回定例会		月	日	( )	

## 図書館協議会議事録の作成並びに発言ルールについて

2023年8月8日（火）  
町田市立図書館協議会事務局

### 【作成要領、基本事項】

1. 議事録は、要旨として作成し、発言者名はアルファベットに変換したうえで併記します。
2. 確定後の議事録は、市政情報課に提出するとともに町田市立図書館ホームページに掲載をします。

### 【議事録作成の流れ】

1. 事務局が（仮）議事録を作成します。（3週間後程度）

↓

2. 各委員宛に（仮）議事録をメールで送付、確認をしていただきます。  
確認期間は、概ね4～5日間とします。

↓

訂正申し出があった場合、訂正内容を見え消しにした版と最終版を作成し、再度各委員宛にメールで送付、確認をしていただきます。

#### ★（仮）議事録の訂正範囲について

原則として、訂正可能なケースは以下2点に限るものとします。

- ①表記の誤り（誤字、脱字等）
- ②発言の趣旨を正しく伝えるため、どうしても訂正が必要なもの  
（文章の推敲となるような内容の訂正はご遠慮ください。）

↓

3. 議事録の確定は、最終版送付後の直近の図書館協議会の場において確認を行い、了承されたときとします。

### 【会議における発言ルール】

議事録は、録音データに基づき筆耕翻訳するため、発言ルールとして以下の点についてご協力をお願いいたします。

1. 発言に当たっては挙手をし、委員長に発言の許可を求めください。
2. 委員長は「〇〇委員」と名前でご指名ください。
3. 委員長の指名後、冒頭「〇〇です。」と名乗ってからご発言ください。
4. 委員長自身の発言も、冒頭「委員長ですが」としてからご発言ください。

## 町田市生涯学習審議会委員の推薦について

### ■町田市生涯学習審議会の概要

#### ○目的

生涯学習審議会（以下「審議会」という。）は、教育委員会の諮問に応じて、生涯学習の振興及び社会教育に関する基本方針の立案、施策及び事業について調査審議する機関です。

#### ○所掌事務

審議会は、教育委員会の諮問に応じ、次に掲げる事項について調査、審議し答申します。

- ①生涯学習の振興及び社会教育（体育及びレクリエーションの活動を含む。以下同じ。）に関する基本方針を立案すること。
- ②生涯学習及び社会教育に関する施策及び事業を評価すること。
- ③上記に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事項

#### ○委員の構成

「町田市生涯学習審議会条例」で定める委員構成は以下のとおり

- ①社会教育委員（8人以内）
- ②生涯学習または社会教育の関係機関の代表（5人以内）
- ③公募による市民（2人以内）

#### ○任期（第6期）

2022年4月1日～2024年3月31日

### ■図書館協議会からの推薦

審議会からの依頼のもと、「生涯学習または社会教育の関係機関の代表」として図書館協議会から委員を1名推薦しています。

第19期図書館協議会においては仲村拓真委員を推薦し、審議会委員を務めていただきました。

今般第20期図書館協議会の開始にあたり、あらためて審議会委員の推薦を行います。

## 図書館からの報告事項

## 1. 2023年度の図書館の体制について

## (1) 役職者の一覧

所属・役職	氏名	備考
図書館長	中嶋 真	
副館長	竹川 裕之	
担当課長	本郷 剛	
総務係長	柳下 明	
担当係長	佐藤 孝久	
企画・地域支援係長	中川 慎介	
担当係長	高田 欽哉	
資料管理係長	高松 昌司	
担当係長	野口 修子	
中央図書館サービス係長	海老澤 幸子	
担当係長	山田 明樹	
担当係長	佐倉 智博	
さるびあ図書館サービス係長	町田 永治	
担当係長	菱谷 圭一	
技能主査	遠藤 昌男	移動図書館運転
鶴川地域図書館サービス係長	芝崎 知子	鶴川図書館
金森図書館サービス係長	保科 明雄	
忠生地域図書館サービス係長	中村 美栄子	
担当係長	宮内 雄史	木曾山崎図書館
堺図書館サービス係長	小林 直貴	

※鶴川駅前図書館は2022年4月～指定管理者（久美堂・ガイアックス共同事業体）による運営

## 2. 町田市議会の動向

## (1) 第2回定例会（6月5日～6月28日）

## ①一般質問

6月13日

・三遊亭らん丈議員「市立図書館の取組について」

(1)「2022年度町田市立図書館利用者アンケート調査結果」の実施概要と結果について伺う。

(2)久美堂本町田店における図書館の本の受渡しサービスの経緯と目的について

- ・松岡みゆき議員「町田市立図書館の勉強スペースについて」
  - (1) 現状は。
  - (2) 全館で、学生の勉強できるスペースが必要では。
- ・村まつ俊孝議員「公立図書館の役割について」
  - (1) 社会の変化とともに図書館の役割が変化している。町田市が考えるこれからの図書館像は。

②文教社会常任委員会（6月16日）

- ・行政報告「図書館再編の取組状況について」 【資料 5-2】

### 3. 町田市教育委員会の動向

- (1) 第3回定例会（6月21日）
  - ・報告「図書館再編の取組状況について」
- (2) 第5回定例会（8月4日）

### 4. 各種計画（町田市5ヵ年計画 22-26、公共施設再編計画、アクションプランなど）に基づく取組み

- (1)（仮称）町田市教育プラン 2024-2028 の策定状況について
- (2) 図書館再編の取組状況について 【資料 5-2】（再掲）
- (3) 第五次町田市子ども読書活動推進計画の策定について 【資料 5-3】

2023年6月16日 行政報告資料 生涯学習部図書館
----------------------------------

## 図書館再編の取組状況について

町田市立図書館では、将来に渡り町田市の図書館サービスを継続していくために、「町田市公共施設再編計画」及び「効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン」に基づき、図書館再編の検討を進めております。

鶴川図書館における図書コミュニティ施設への転換に向けた取組状況とさるびあ図書館における地域との意見交換の実施状況について報告いたします。

### 1 鶴川図書館の図書コミュニティ施設への転換に向けた取組状況について

#### (1) 図書コミュニティ施設運営団体設立準備会の立ち上げ

図書コミュニティ施設運営団体設立に向けて鶴川地区で読書普及や子どもの学習支援などに取り組んでいる5名が発起人となり準備会が立ち上がりました。

4月から定期的に会議を開催しており、運営団体のビジョンやコンセプト、事業計画などの検討を始めました。検討状況は図書館ホームページなどで情報発信してまいります。

#### (2) 今後のスケジュール

2023年10月 運営団体設立

運営団体によるイベントの開始

2024年 2月 図書コミュニティ施設への転換に向けた施設改修

### 2 さるびあ図書館における取組状況について

町田駅周辺の図書館の集約につきましては、2026年度に集約方法を決定することとしております。集約方法の検討にあたり、地域との意見交換を進めています。

#### (1) 地域の方々との意見交換の実施状況

さるびあ図書館の今後について、町田第二地区の町内会・自治会や、青少年健全育成地区委員会、民生委員・児童委員の皆様との意見交換を行っています。

① 実施期間 2020年12月3日 ～ 継続中

② 実績 31団体 145人（2023年5月31日現在）

#### (2) さるびあ図書館の今後に関する意見交換会の開催

公共施設再編や町田駅周辺における図書館の集約についてより深く意見交換をするため、さるびあ図書館近隣の町内会・自治会との意見交換会を開催しました。

① 実施日時 2023年6月10日 15:00～16:40

② 対象 さるびあ図書館近隣の町内会・自治会

③ 参加者 11団体 15人

④ 会場 旭町地区会館



## 第五次町田市子ども読書活動推進計画について

町田市では、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、「町田市子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもたちの読書の推進に取り組んでいます。現在の第四次計画が2024年度で終了するため、第五次計画の策定について検討を開始します。

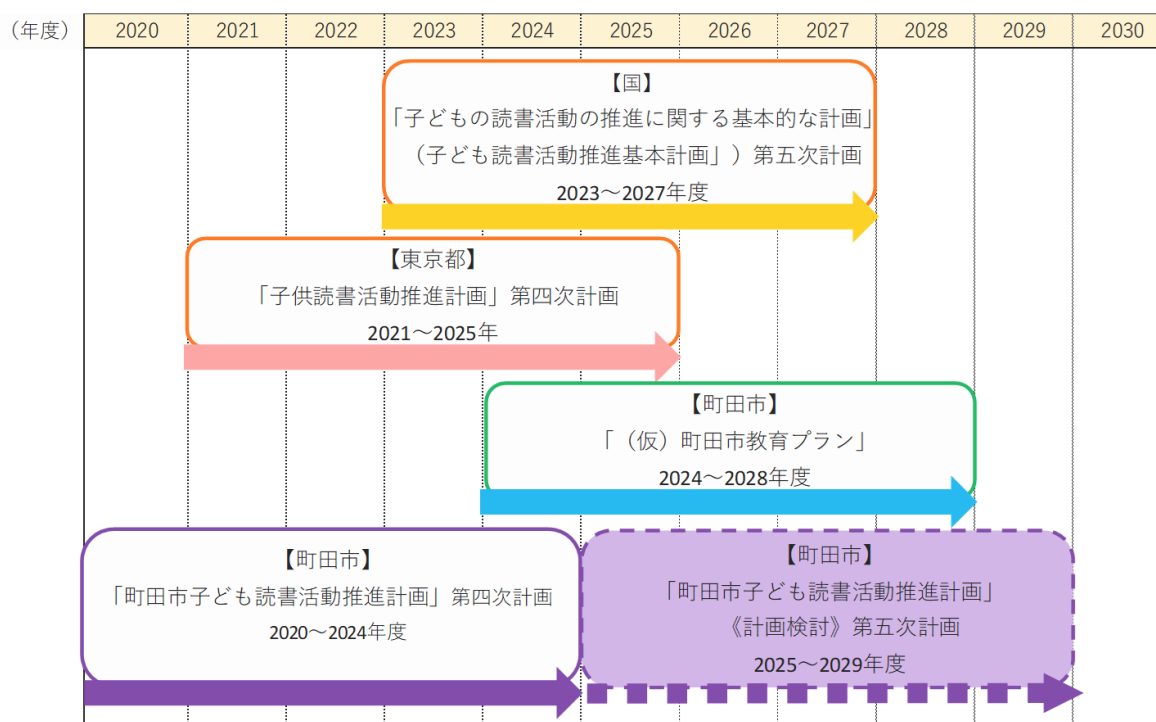
## 1 計画期間

2025年4月から2030年3月まで

## 2 検討の方向性

「第四次町田市子ども読書活動推進計画」からの課題、国・東京都の計画を踏まえ、東京都の「児童及び生徒の読書の状況に関する調査結果」なども活用しながら、子どもの読書活動の推進について検討していきます。

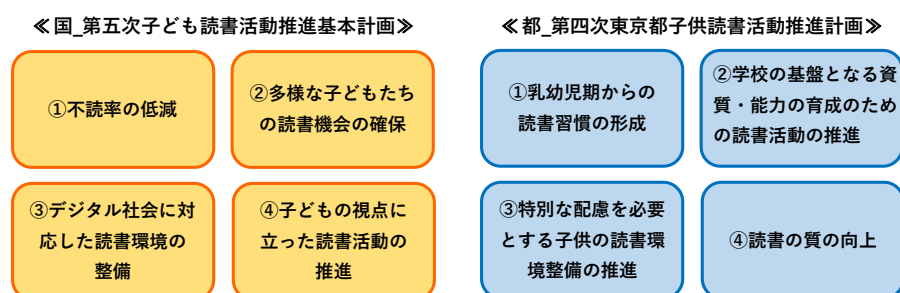
## 【国・東京都・町田市の計画】



### 3 国・東京都の状況

国は第五次「子ども読書活動推進基本計画」（2023年3月）、東京都は第四次「東京都子供読書活動推進計画」（2021年3月）を策定し、それぞれ計画の方針を掲げています。

#### 【国・東京都の計画方針】



### 4 計画検討体制

計画の検討は、第五次町田市子ども読書活動推進計画策定委員会及び作業部会を設置して行います。また、「子ども読書活動推進計画推進会議」、「図書館協議会」から意見を聴取し、計画原案作成後に市民意見を募集します。

#### 【第五次町田市子ども読書活動推進計画策定委員会委員】

委員長 生涯学習部図書館長

委員 子ども生活部児童青少年課長、子ども生活部子育て推進課長、学校教育部教育総務課長、学校教育部指導課長、生涯学習部生涯学習総務課長、生涯学習部生涯学習センター長、生涯学習部図書館市民文学館担当課長

### 5 スケジュール

- 2023年8月 策定開始
- 2024年4月 計画素案作成
- 2024年7月 計画原案作成
- 2024年9月 市民意見の募集
- 2025年2月 第五次町田市子ども読書活動推進計画策定

## 若者の図書館利用促進について

子ども・若者の利用は近年の図書館では大きな課題となっています。そもそもの子どもの人口減少や、若者の不読率の上昇など、若者の読書状況は大きく変化しています。

今後長く図書館を利用する世代の人に、図書館に来てもらう、図書館を知ってもらう、ということが大切になります。

そこで不読率の高い中学生・高校生世代の若者の利用促進について検討をお願いいたします。

### 1 若者の利用状況について

資料の貸出数は減少傾向にあり、登録者数自体も中学生世代からぐっと下がります。中学生・高校生世代を中心に、図書館を利用してもらえるよう検討を進めていくことが必要となります。

#### 【資料貸出数0歳から22歳まで】

(冊)

年齢		0～6	7～12	13～15	16～18	19～22	合計	全体	全体に対する 若者の割合
年度	2022	239,508	331,170	58,959	26,775	43,001	699,413	2,829,362	24.7%
	2021	239,151	330,976	61,466	29,895	49,313	710,801	2,861,715	24.8%
	2020	195,730	272,540	58,218	25,840	47,649	599,977	2,443,928	24.5%
	2019	220,630	369,718	64,450	34,251	39,030	728,079	2,966,524	24.5%
	2018	253,873	427,625	78,314	35,181	46,843	841,836	3,356,692	25.1%
	2017	254,678	450,493	89,127	33,128	52,708	880,134	3,433,475	25.6%

#### 【2023年7月19日現在の登録者数】

(人)

年齢	0～6	7～12	13～15	16～18	19～22
2023.07.19時点	11,102	14,100	1,688	2,070	7,665

### 2 若者イベント等の取組みについて (別紙1・2参照)

「わいわいキャレル」のような居場所の提供から、参加型の講座やイベントも行っています。なかなかイベント当日に人を集めるのは、難しい状況です。「まちクエ2021」は参加者が少なかったため、2022年度は期間を長くし、回遊式のイベントに変更した経緯もあります。

また、2022年度に行った「図書館プランナーになってみちゃう!？」から提案された、ボードゲーム大会を2023年8月8日(17時～19時)に行います。引き続きボードゲームを含めたイベントの企画・運営や、図書館で行っているイベントに参加して感想等をレポートする「図書館プランナー(図書館ボランティア)」を募集する予定です。

## 3 今後のスケジュールについて

## 【図書館若者利用促進検討スケジュール】

回数	開催日程		検討テーマ案
第1回	2023年度	2023年8月8日	①若者の図書館利用時状況について ②若者イベント等の現状について（今後の予定）
第2回		2023年10月6日	①学習スペースについて（1）
第3回		2023年11月21日	①学習スペースについて（2） ②第五次町田市子ども読書活動推進計画について ③POPコンテストについて
第4回		2024年1月26日	①POPコンテストの選考について
第5回	2024年度		①今年度スケジュールについて ②第五次町田市子ども読書活動推進計画について
第6回			①具体策について ②第五次町田市子ども読書活動推進計画について
第7回			①具体策について
第8回			①具体策について
第9回			①振り返りとまとめ

年度	開催日程	行事・イベント名	概要	定員・参加人数
2021年度	通年（臨時休館時除く）	中学生向けグループ学習室「わいわいキャレル」	中央図書館で土日祝日に実施している中学生向けグループ学習室。	165組377名
	2021年7月1日～9月20日	ことばらんどショートショートコンクール	小学生から高校生までを対象に、自由な発想や創造力を存分に発揮できるショートショートを募集。	939点の応募
	2021年7月29日・8月5日・19日・26日	一日図書館員	夏休み期間にYA世代を対象に図書館員体験を行う。	13名/4日間
	2021年8月15日	絵本づくりワークショップ	「ことばらんどショートショートコンクール」の関連イベントとして行う。絵本（角背製本）を自分の手でつくる。	4名
	2021年8月20日	青少年映画会（Yシネマ）	ホール前方を10代の方優先席として開放して行う、10代の方向け映画会。	10代の参加者2名/総観客数18名
	2022年2月1日	移動図書館のPR動画作成	さがまち学生Clubと一緒に移動図書館のPR動画を作成。	—
	2022年3月28日	まちクエ2021	YA世代を対象に謎解きレファレンス講座。	4名
2022年度	通年	中学生向けグループ学習室「わいわいキャレル」	中央図書館で土日祝日に実施している中学生向けグループ学習室。	273組682名
	2022年7月1日～9月20日	ことばらんどショートショートコンクール	小学生から高校生までを対象に、自由な発想や創造力を存分に発揮できるショートショートを募集。	887点の応募
	2022年7月29日	青少年映画会（Yシネマ）	ホール前方を10代の方優先席として開放して行う、10代の方向け映画会。	10代の参加者9名/総観客数33名
	2022年7月28日・8月4日・18日・25日	一日図書館員	夏休み期間にYA世代を対象に図書館員体験を行う。	16名/4日間
	2022年10月15日	つながりマルシェin芹ヶ谷公園	さがまち学生Clubが実行委員の「つながりマルシェin芹ヶ谷公園」に、移動図書館が参加。電子書籍サービスキャラクター「ブックロー」のしおり（ぬりえ）を学生が作成し、来場者に配布。	—
	応募期間2022年11月15日～1月10日	ひとことPOPコンテスト2022	小学校4年生～18歳の子どもたちを対象。人に勧めたい本を絵とひとことにまとめてPOP（しおり）を作成。最優秀賞など5賞は、しおりにして市内各所で配布。	90作品
	2022年12月9日～2月8日	まちクエ2022	中学生向け回遊型謎解きイベント。謎解きゲームを通じ図書館内を巡ることで、図書館の基本的な構造や、本を借りるだけではない図書館の便利な使い方を体感してもらうイベント。	41名
	2022年12月18日	図書館プランナーになってみちゃう！？	MSP（町田創造プロジェクト）とのコラボイベント。このイベントで提案されたボードゲーム大会について、プレイイベントを3月28日に行った。	6名
2023年3月21日	英語多読で推し活がはかどります！	中高生世代（中学生～20歳未満）向け、趣味を楽しむための方法として英語多読を紹介。	7名	

# 図書館を楽しくしよう

図書館  
プランナー  
(イベントボランティア)  
募集!!

図書館でイベント・やってみたいことを企画しませんか？  
自由な発想を活かそう！ボードゲーム大会をしたい！も可ですよ！！

**募集期間：**2023年9月1日から30日（先着15人）

**対象：**15～25歳まで（中学生を除く）で、中央図書館で行う  
集まりに参加できる方

**受付：**メール【 】に  
件名に「図書館プランナー応募」と入れて  
本文に、名前、住所、学校名・学年（または年齢）、連絡先  
（電話）を入れてメールをお送りください。

**活動日時：**活動は通年（月1回程度）行う予定。  
（その他にイベントを開催する場合あり）  
平日17時から19時※初回に曜日時間等を決めます。

**活動概要：**○図書館のイベントや、図書館でやってみたいことの企画・運営  
○図書館で行っているイベントに参加し、体験をレポートする  
（図書館ホームページ・Twitterに掲載）

## 図書館評価について

### 1. 図書館評価の概要

町田市立図書館では2008年6月の図書館法改正を契機として、図書館評価に取り組んでいくこととしました。改正内容に、図書館自身がその運営状況を自己点検し、改善するとともに、関係者へ積極的に情報提供を行う内容が盛り込まれたためです。

2009年度から2013年度の5カ年を第1期の計画期間とし、5年間で到達すべき目標を設定しました。また、評価項目ごとに単年度の取組目標を毎年度設定し、その達成状況を自己評価することに加えて、外部評価を図書館協議会に依頼するやり方で進めてきました。

2014年度から2018年度の第2期図書館評価は、2013年度に策定した『図書館事業計画』を元に、図書館の事業をよく表している業務と活動指標を選び、毎年の数値結果を確認することとしました。第1期と同様に、図書館協議会に外部評価を依頼しました。

2019年度からの第3期図書館評価は、図書館事業計画を『生涯学習推進計画2019-2023』に組み込んだため、この項目を評価対象としました。教育プランや、図書館のアクションプランともリンクしているため、町田市の図書館が、この数年間で取り組みたい項目が具体的に示されていて、目標設定もされているためです。評価シートは生涯学習推進計画の実績報告シートを活用します。

引き続き図書館協議会による外部評価をお願いいたします。

### 2. 2022年度実績の図書館評価の実施概要

○評価項目は全14項目（19指標）あります。

評価項目を3グループに分け、各委員がどのグループの評価を行うかを決めます。（1グループ3人（委員長除く）、4～5項目担当）

○第1回定例会では図書館評価の概要について説明した後、グループに分かれて各評価項目について担当職員が説明と質疑応答を行います。各事業の補助資料の提供を行います。

○第2回定例会までの期間に、各委員でコメント案を作成していただき、事務局にお送りください。

○第2回定例会でグループごとにコメント案の協議と全体での確認時間を設定します。外部評価に関する報告書の内容についての意見交換も行います。

○10月下旬をめどにグループのコメント案をまとめていただき、事務局にお送りください。

その後、第3回の定例会までの期間に、委員長に取りまとめをお願いいたします。

○第3回定例会で外部評価を決定します。

### 3. 評価スケジュール（案）

	第20期図書館協議会	図書館
第1回定例会 (8/8)	外部評価の依頼を受ける	外部評価依頼 図書館評価概要説明 グループに分かれて評価項目説明 補助資料提供
	コメント案を作成・事務局へ送付 (締切 9/20)	コメント案の整理
第2回定例会 (10/6)	グループ協議・コメント案の調整 全体確認	
	グループコメント案を作成・事務局へ送付 (締切 10/20) 委員長取りまとめ・総評作成	資料取りまとめ・修正
第3回定例会 (11/21)	外部評価の内容決定	
第4回定例会 (1/26)	(予備日程)	図書館評価結果の公表



■取組2-3 子ども読書活動の推進【◇】		図書館			
事業概要	生涯にわたって主体的に読書をする習慣を身に付けることができるよう、子ども読書活動の推進に関する全市的な取組をまとめた「第四次町田市子ども読書活動推進計画（2020年度～2024年度）」を策定・推進します。特に、子どもの読書活動に合わせた図書資料の充実とともに、小学校英語の教科化などの動向を踏まえ、外国語の絵本・児童書を重点的に整備します。				
これまでの取組	第三次町田市子ども読書活動推進計画（2015年度～2019年度）に基づき、庁内各部署で計32の取組を実施するとともに、計画の進捗管理を「子ども読書活動推進計画推進会議」を通じて行っています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①第四次町田市子ども読書活動推進計画の策定		第三次計画に基づく事業の実施	策定完了（2019年度）	
	②外国語の絵本・児童書の蔵書数		3,966冊	6,500冊	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	第四次計画の策定	第四次計画に基づく事業の推進 推進会議を通じた事業の進捗確認の実施			
	外国語の絵本・児童書の計画的購入・活用 利用状況等の検証				利用状況等の検証
年度目標（指標①）	第四次計画の策定完了	事業の推進進捗確認	事業の推進進捗確認	事業の推進進捗確認	事業の推進進捗確認
年度目標（指標②）	4,500冊	5,000冊	5,500冊	6,000冊	6,500冊

## ＜2022年度の事業実績＞

達成状況（指標①）	B 目標を達成した				
取組状況（指標①）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年度に策定した「第四次町田市子ども読書活動推進計画」の事業を推進するため、2022年度は7月と1月の計2回、町田市子ども読書活動推進計画推進会議を開催しました。</li> <li>・町田市子ども読書活動推進計画推進会議は、委員による事業報告の事前確認により、以前よりも効率よく会議を進めることができました。</li> </ul>				
達成状況（指標②）	A 計画以上に目標を達成した				
取組状況（指標②）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語児童書の充実にもつれてふるさと納税を活用したことにより外国語の絵本・児童書の蔵書数が約6,800冊となり、目標値を大きく上回りました。</li> <li>・「英語多読コーナー」を、2023年2月10日に3館（さるびあ図書館、金森図書館、堺図書館）新たに設置しました。これにより、既存の3館（中央図書館、鶴川駅前図書館、忠生図書館）とあわせて予定していた6館に設置することができました。</li> <li>・英語図書の活用や英語多読の周知のため、英語多読講演会を2回開催した他に、保護者向け英語絵本の読み聞かせ講演会、ボランティア・職員向け英語絵本読み聞かせ研修会、10代向け英語多読講演会を行いました。</li> </ul>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第五次町田市子ども読書活動推進計画の策定に向けて、現状の課題や問題を分析し、今後の方向性を検討する必要があります。</li> <li>・読み聞かせでの利用や英語多読初心者に適した、外国語の絵本・児童書を充実させる必要があります。</li> </ul>				
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、第四次町田市子ども読書活動推進計画計画の推進を図るとともに、第五次計画の策定について検討します。</li> <li>・読み聞かせや英語多読で使用できるように、電子書籍を含め外国語の絵本・児童書資料を引続き充実させます。</li> </ul>				

<b>■取組2-4 学校図書館との連携強化【◇】</b>	図書館
------------------------------	-----

事業概要	小・中学校の学校図書館への支援や子どもの読書活動を充実させるために、図書館から学校図書館への貸出のしくみを改善するなど、支援方法を見直して、学校図書館と図書館との連携を強化します。				
これまでの取組	さるびあ図書館を拠点に、「学校図書館支援貸出」（しらべ学習等に対応して、図書館が選書を行って提供する）により、小・中学校の学校図書館へ本を車で配本するサービスを行っています。また、学校図書指導員への研修に協力しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①学校図書館支援貸出利用校数		35校	42校	
	②学校図書館支援貸出数		3,768冊	4,500冊	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	学校図書館支援貸出の実施				
	新たな支援内容の検討	貸出方法等の改善 新たな支援の実施			支援内容の検証
年度目標（指標①）	35校	37校	39校	40校	42校
年度目標（指標②）	3,800冊	4,080冊	4,220冊	4,360冊	4,500冊

## &lt;2022年度の事業実績&gt;

達成状況（指標①）	D 目標に達しなかった
取組状況（指標①）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館支援貸出は26校に実施しました。</li> <li>・学校図書館への連携サービス改善のため、公立小・中学校へ学校図書館支援に関するアンケート調査を実施しました。また、町田市小学校教育研究会図書館部の教員に対して、学校図書館に関するヒアリングを実施しました。</li> </ul>
達成状況（指標②）	D 目標に達しなかった
取組状況（指標②）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館支援貸出の冊数は、2,884冊でした。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館と連携をとりながら、学校図書館支援に関するサービスの改善に努める必要があります。</li> <li>・アンケート調査やヒアリングから、貸出依頼時に選書などに時間がかかり、利用しにくいことがわかりました。</li> </ul>
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館支援に関するアンケート調査の結果から、学校図書館支援貸出に関する改善策を検討していきます。</li> <li>・引き続き、学校図書館支援貸出、研修会の協力、団体貸出資料の配本サービス等を行い、学校図書館との支援や連携に努めていきます。</li> </ul>

■取組2-5 生涯学習施設の利用促進	文化財係・自由民権資料館・生涯学習センター・図書館・文学館
--------------------	-------------------------------

事業概要	より多くの市民に生涯学習施設を知ってもらい、幅広い世代の利用につながるよう、リーフレットやホームページ、SNSを利用した情報発信のほか、各施設の相互PRをはじめ、市内外の各機関と連携したPR活動を進めます。			
これまでの取組	リーフレットやホームページ、SNSを利用した情報発信を行っています。			
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）
	①連携して行うPR活動件数		4件	10件
	②SNS発信数		219回	800回
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	新たな連携先の検討・調整	新たな連携先とのPR活動の実施	検証	検証結果に基づくPR活動の見直しと実施
	SNSを利用した情報発信			
年度目標（指標①）	5件	6件	7件	8件
年度目標（指標②）	520回	610回	670回	800回

<2022年度の事業実績>

実績値 （指標①）	
取組状況 （指標①）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さがまちコンソーシアム（さがまち学生Club）と協働事業として、10月「つながりマルシェin芹ヶ谷公園」にて移動図書館そよかぜ号の出張訪問を行い、イベントを訪れた方へ図書の出し出しやお話し会をすることで移動図書館をPRしました。</li> <li>・9月に実施したイベント「星空シバヒロピクニック」において、町田シバヒロに移動図書館そよかぜ号を派遣し、読みたい本を持ってこなくても本が読める環境を提供し、移動図書館をPRしました。</li> <li>・保育園、幼稚園へ移動図書館そよかぜ号の出張訪問を行い、園児や先生へ図書の出し出しをすることで移動図書館をPRしました。</li> </ul>
実績値 （指標②）	
取組状況 （指標②）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症によるまん延防止措置対応等、適宜状況に応じた情報発信を行いました。</li> <li>・毎年フォロワー数を増やしており、前年度から148人増加し、1,478人になりました。</li> <li>・発信回数は増えており、前年度から8回増加し、108回の発信を行いました。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HP掲載と併せてSNSによる発信を行わなければならないため、SNS単体での発信が出来ず、多くの発信をすることができていない。</li> </ul>
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一つのHP記事について、複数回SNSでの情報発信を行っていただけるように、HP記事の内容を含め、情報発信の方法を検討していきます。</li> </ul>

事業概要	インターネットやスマートフォンの普及により、読書量が減っていると言われてい ます。小学生以下の子どもの読書のきっかけとなる事業や、中高生を対象とした図書館 に足を運ぶきっかけとなるイベントを行うなど、18歳以下へ向けた取組を強化しま す。				
これまでの取組	小学1年生を対象に「としょかんいちねんせい*」を実施しました。小学校高学年、 中学生、高校生を対象にPOP（本の紹介カード）を応募する「まちだライブ・ラ リー」を実施しました。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	18歳以下の方の利用登録 につながる事業数		2事業	4事業	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	事業の 実施・ 検討	3事業実施		4事業実施	
			事業内容 の検証		事業内容 の検証
年度目標	2事業	3事業	3事業	4事業	4事業

\*としょかんいちねんせい：公立小学校の新1年生に引換券（兼・利用登録用紙）を配布し、図書館・  
文学館に引換券を持参した児童にカードケースを贈る事業。

<2022年度の事業実績>

達成状況	A 計画以上に目標を達成した
取組状況	以下の11事業を実施しました。 ①「としょかん1ねんせい」では、図書館に登録・更新した483名へミニプレゼント を渡しました。②5、6歳から小学校低学年を対象とした「読書手帳」を配布しまし た。③中央図書館で実施している中高生向けグループ学習室「わいわいキャレル」は 273組682名の利用がありました。④「小学生向け講座～ちょっぴり図書館員に なってみよう！」を実施し、14名の参加がありました。⑤YA世代*を対象に、一 日図書館員を実施し、4日間で16名の参加がありました。⑥青少年映画会”Yシネ マ”を実施し、10代の参加は9名（総観客数は33名）でした。⑦中高生向け回遊型 謎解きイベント「まちクエ2022*」を実施し、41名の参加がありました。⑧MSP （町田創造プロジェクト）と行ったイベント「図書館プランナーになってみちゃ う！？」に6名の参加がありました。このイベントで提案されたボードゲーム大会に ついて、プレイメントを行いました。⑨「ひとことPOPコンテスト2022」を 実施し、書店や地域文庫に周知や審査に協力をしてもらうことができました。作品は、 90名からの応募があり、最優秀賞1名、優秀賞2名、また、応募作品全体から図書館 長特別賞が2名選ばれました。⑩「英語多読で推し活がはかどります！」は7名の参 加があり、趣味を楽しむための方法としての英語多読講演会を行いました。⑪文学館 では、小学生から高校生までを対象に、「ことばらんどショートショートコンク ール」を開催し、887点の応募がありました。
課題	・今後も中高生世代が読書や図書館に興味を持つよう、若者の意見を聞く必要があり ます。
今後の取組の 方向性	・ボードゲーム大会を中心に、MSPやさがまち学生Clubなどからの提案を支援し、 若者の参画を進めていきます。 ・今後も内容を見直ししながら、継続した取り組みを実施します。

\*YA世代：ヤングアダルト世代の略で、中学生から大学生ぐらいの年齢層を想定。

\*まちクエ2022：まちだクエストの略。謎解きゲームを通じ図書館内を巡ることで、図書館の基本的  
な構造や、本を借りるだけではない図書館の便利な使い方を体感してもらうイベント。

■取組2-7 シニア世代向け事業の充実

図書館

事業概要	いつでもだれでも気軽に利用できるという図書館の強みを活かし、地域の図書館で認知症予防の講座を市民と協働して実施するなど、シニア世代が住み慣れた地域でいきいきと健康に暮らしていくための取組を行います。				
これまでの取組	未実施				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	シニア世代を対象とした事業数		未実施	2事業	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	実施検討	1事業実施		2事業実施	
			事業内容の検証		事業内容の検証
年度目標	実施検討	1事業	1事業	2事業	2事業

<2022年度の事業実績>

達成状況	A 計画以上に目標を達成した
取組状況	<p>以下の5事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ことぶき大学まちだ探・探ゼミナールにおいて、講座「図書館を活用した調べ学習」「著作権/出典・引用の扱い」を中央図書館にて実施しました（生涯学習センターとの共催）。</li> <li>鶴川駅前、金森、堺、忠生の各図書館及び移動図書館にて、シニア世代向け特集や認知症関連図書の特集展示等を行いました。</li> <li>デジタルデバイス解消事業として、はじめてのスマホ体験（10月～11月）、スマートフォン・タブレット個別相談会（11月～3月）、セキュリティ講演会（11月）を実施しました。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>シニア世代向けの効果的な情報提供方法や事業内容を検討する必要があります。</li> <li>スマートフォン・タブレット個別相談会において、利用率が全体で52%に留まっていたため、周知方法を含め、検討していく必要があります。</li> </ul>
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>特集展示について、情報を常に提供できる方法を検討します。</li> <li>スマートフォン・タブレット個別相談会について、周知方法・募集方法を見直し、利用率の向上を目指します。</li> </ul>

事業概要	通常の活字による読書が困難な人の学びのきっかけとなるよう、マルチメディアDAISY（デイジー）*の貸出を拡充するなど、より対象者を広げた障がい者サービスを行います。				
これまでの取組	視覚障がいなどで活字を読むことが困難な人、寝たきりなどで図書館への来館が困難な人へのサービスを行っています。さらに、視野狭窄などにより読書が困難な人を対象に、リーディングトラッカー（読書補助具）の貸出を実施しています。				
活動指標	指標			現状値（2017年度）	目標値（2023年度）
	通常の活字による読書が困難な人を対象とした事業数			1事業	3事業
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	事業の実施・検討	2事業実施		3事業実施	
			事業内容の検証		事業内容の検証
年度目標	1事業	2事業	2事業	3事業	3事業

\*マルチメディアDAISY（デイジー）：音声と一緒に、文字や絵、写真などを見ることができるパソコンで読む本のこと。

<2022年度の事業実績>

達成状況	B 目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マルチメディアDAISYについて、上映会を開催し33名の参加がありました。図書館が所蔵する多様な資料のPRを行いました。若手教員育成研修で資料の紹介と、学校図書館支援貸出でも利用できることを案内しました。</li> <li>・ボランティア養成講座「初めての点訳ボランティア」を開催し、18名の参加がありました。</li> <li>・リーディングトラッカーの貸出を含め、実施した事業の合計は3事業となりました。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書バリアフリーを進めるため、カセットテープによるサービスから転換する方策としてデイジー再生機器*の貸出サービスについて検討する必要があります。</li> <li>・引き続きボランティアの養成を支援するような取り組みが必要となります。</li> </ul>
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デイジー再生機器の貸出サービスについて、情報収集するとともに実施に向けた検討を行います。</li> <li>・関連団体等とも協力して、ボランティア養成を進めます。</li> </ul>

\*デイジー再生機器：目が見えない方や本を読むことが難しい方のための「音の本」であるDAISY（デイジー）図書を再生できる専用の機器で、簡単な操作で聞くことができる。

<b>■取組2-9 図書館資料による情報提供機会の充実</b>	図書館
---------------------------------	-----

事業概要	町田市の施策や町田市の魅力をより多くの市民にPRするために、図書資料の展示方法やPRを改善しながら、「本の特集コーナー」による情報提供機会の充実を図ります。				
これまでの取組	2015年度から町田市の施策をPRするための「本の特集コーナー」を市の各部署と連携して行っています。市の施策を市民に役立ててもらおうとともに、図書館利用者を増やす取り組みのひとつとなっています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	他部署や他機関と連携した「本の特集コーナー」の実施数		19回	33回	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	改善点の洗い出し	改善案の実施	改善点の洗い出し	改善案の実施	改善点の洗い出し
年度目標	19回	26回	26回	33回	33回

<2022年度の事業実績>

達成状況	A 計画以上に目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他部署や他機関と連携した「本の特集コーナー」を67回実施しました（中央図書館23回、さるびあ図書館3回、鶴川図書館1回、金森図書館1回、木曾山崎図書館1回、堺図書館4回、鶴川駅前図書館32回、忠生図書館2回）。</li> <li>・各部署からの希望時期が重複し中央図書館での実施が出来なかった場合は、地域館で展開できるよう調整を行いました。</li> <li>・全館共通テーマに関連した特集コーナーなどの実施を行いました。</li> <li>・特集コーナーの実施に当たり、担当課所管のHP・SNSにて、周知をしていただきました。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他部署からの特集コーナーの申込が多数となった場合等に、選別する方法を明確にする必要があります。</li> </ul>
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他部署からの特集コーナーの申込について、様式の改定を含め、より分かりやすい方法を検討します。</li> </ul>

<b>■取組3-8 レファレンスサービスの充実</b>	図書館
-----------------------------	-----

事業概要	市民の調査・研究を援助するレファレンスは、市民一人一人の学びを深めることができる重要なサービスです。求める資料を見つけることができるように、レファレンスサービスの充実に向けて技術の向上を図ります。さらに、レファレンス事例の公開や、インターネット情報にアクセスできる環境を整備します。				
これまでの取組	レファレンス事例をデータ化し、インターネットで公開しました。基本的な資料を案内する「パスファインダー」を作成しました。調べ物に役立つ情報をまとめた「レファレンス通信」を発行しました。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	レファレンス事例の公開件数		162件	250件	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
年度目標	190件	205件	220件	235件	250件

<2022年度の事業実績>

達成状況	B 目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レファレンス事例をインターネットで21件公開し、公開件数は延べ279件になりました。</li> <li>・国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築している「レファレンス協同データベース」にレファレンス事例を20件公開しました。</li> <li>・レファレンス事例や資料を紹介する「レファレンス通信」を2回発行しました。</li> <li>・パスファインダー「ビジネス編」の改訂を行いました。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レファレンス事例については、利用者の調べ物に役立つよう、引き続き幅広い分野について公開していく必要があります。特に町田の地域資料に関する事例の充実が必要です。</li> <li>・レファレンスサービスを身近に感じてもらえるような取組が必要です。</li> <li>・「パスファインダー」については、最新の情報を提供するため定期的に改訂する必要があります。</li> <li>・レファレンスサービスの充実には、職員の技術力向上が欠かせず、人材育成が必要です。</li> </ul>
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、町田の地域資料を中心とした幅広い分野について、レファレンス事例を公開していきます。</li> <li>・「レファレンス通信」やイベント等を通じて、利用者に身近に感じてもらえるような工夫を行います。</li> <li>・「パスファインダー」の改訂を行います。</li> <li>・レファレンス技術向上のため、都立図書館等の研修に積極的に参加します。</li> </ul>



<b>■取組4-3 地域で活動するボランティアの養成・支援【◇】</b>	図書館
--------------------------------------	-----

事業概要	おはなし会などの本にかかわる活動がより活発に行われるよう、地域や学校で活動するボランティアを養成するとともに、ボランティアが行うおはなし会の開催を支援します。				
これまでの取組	各図書館でのおはなし会については、ボランティア入門講座を行っておはなし会の担い手を育成し、職員とボランティアが協力して、おはなし会を実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①地域で活動するボランティア向け講座の開催回数		1回	3回	
	②地域で活動するボランティア向け講座への参加者数		26人	90人	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	ボランティア向け講座の実施、内容の検証・改善				
	新たな支援方法の検討		新たな支援の実施		
年度目標 (指標①)	1回	1回	2回	2回	3回
年度目標 (指標②)	30人	30人	60人	60人	90人

## &lt;2022年度の事業実績&gt;

達成状況 (指標①)	B 目標を達成した
取組状況 (指標①)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせ活動に関わる保護者やボランティアを対象とした絵本の読み聞かせ講座「基礎編」を2回、「応用編」を1回、図書館ボランティアを対象としたスキルアップ研修等を4回開催し、計7回開催しました。</li> </ul>
達成状況 (指標②)	B 目標を達成した
取組状況 (指標②)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせ活動に関わる保護者やボランティアを対象とした絵本の読み聞かせ講座「基礎編」に25人、「応用編」に13人、図書館ボランティアを対象としたスキルアップ研修等に45人、計83人の参加がありました。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町田市の図書館として、年間を通じてどこの館で、どのような内容で講座等を行うのかを設定することができたので、今後は市民向け講座に関しては周知の方法を、ボランティア向けの講座に関しては参加者が増えるように講座の内容に関する検討が必要と考えます。</li> </ul>
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で中止していたボランティアの養成講座を再開します。</li> <li>・図書館で行うおはなし会へのボランティアの参加機会を拡充していくために、どのような支援が必要か検討します。</li> <li>・ボランティアの新たな活躍の場について、要望に応じた支援ができるよう、事業の具体化に向けて検討を進めます。</li> </ul>

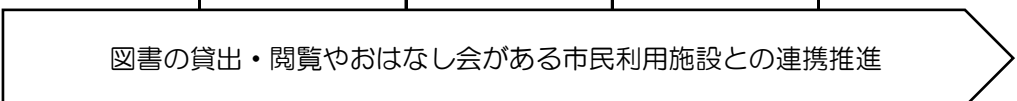
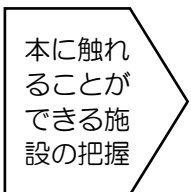

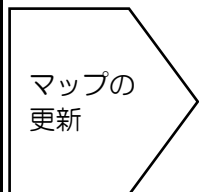
<b>■取組4-7 図書館運営の地域協働化の促進</b>	図書館
------------------------------	-----

事業概要	市民の学習を支える図書館活動を市民参画・協働でこれまで以上に進めることができるよう、図書館で活躍するボランティアの活動分野を拡げていきます。				
これまでの取組	児童サービスの「おはなし会ボランティア」、障がい者サービスの「宅配ボランティア」・「音訳ボランティア」・「点訳ボランティア」・「対面朗読ボランティア」で市民ボランティアが活動しています。				
活動指標	指標			現状値（2017年度）	目標値（2023年度）
	ボランティア活動分野の拡大			5分野	7分野
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	5分野	6分野		7分野	
	拡大に向けた検討				
年度目標	5分野	6分野	6分野	7分野	7分野

<2022年度の事業実績>

達成状況	C おおむね目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下記のとおり6分野でボランティアの活動がありました。</li> <li>①「おはなし会ボランティア」 小学生・幼児向け：202回、乳幼児向け：102回開催</li> <li>②「宅配ボランティア」宅配件数：431件</li> <li>③「音訳ボランティア」音訳資料製作タイトル数：43点</li> <li>④「点訳ボランティア」点訳資料製作タイトル数：18点</li> <li>⑤「対面朗読ボランティア」対面朗読件数：279件</li> <li>⑥「イベント企画」イベント件数：2件</li> <li>・さがまち学生Clubが実行委員の「つながりマルシェin芹ヶ谷公園」2022年10月15日（土）に、移動図書館が参加しました。電子書籍サービスキャラクター「ブックロー」のしおり（ぬりえ）を学生が作成し、来場者に配布しました。</li> <li>・MSP（町田創造プロジェクト）と図書館のコラボイベント「図書館プランナーになってみちゃう!？」を2022年12月18日（日）に行い、6名の参加がありました。このイベントで提案されたボードゲーム大会について、2023年3月28日（火）にプレイイベントを行いました。2023年度に一般向けイベントを開催できるよう、検討を行っています。</li> <li>・2022年12月21日（水）から2023年1月20日（金）に実施された第2回町田市市政モニターを活用し、「図書館電子書籍サービス及び図書館ボランティアについて」情報収集を行いました。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもや若者に図書館とのコラボイベントを検討・提案してもらい、参画を進めていく必要があります。</li> <li>・ボランティアとして、興味のあることに気軽に参加できる環境や研修になるような工夫が必要です。</li> <li>・市政モニターの結果から本の返却や本棚の整理といったボランティアのニーズが高いことや自分の都合の良い時間で参加出来ると参加しやすくなることが分かったため、これらを踏まえた検討が必要です。</li> </ul>
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後もイベントの企画・運営等の分野を開拓し、読書や図書館に興味を持つきっかけになるように検討を進めていきます。</li> <li>・市政モニターの結果を踏まえたボランティア活動を検討します。</li> </ul>

■取組5-2 本と出会う場所の創出【◇】	図書館
----------------------	-----

事業概要	町田市市内には大学図書館や地域文庫、まちライブラリー*など本に触れることができる施設が各地域にあります。これらの施設と図書館が連携して読書活動を推進する取組を進めるとともに、これらの施設の情報を集約した読書マップを作成します。				
これまでの取組	市民が利用可能な大学図書館やおはなし会を実施している団体の情報を収集し、図書館ホームページに掲載しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①読書活動推進にかかる連携施設数		20か所	25か所	
	②読書マップの作成		未実施	作成・公開 （2020年度）	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
					
					
年度目標 （指標①）	21か所	22か所	23か所	24か所	25か所
年度目標 （指標②）	施設の把握	作成・公開	検証	更新	検証

\*まちライブラリー：47ページのコラム「まちライブラリーとは？」を参照。

### <2022年度の事業実績>

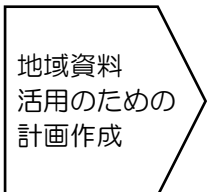

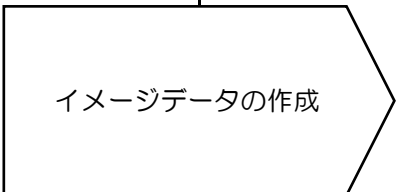

達成状況 （指標①）	C おおむね目標を達成した
取組状況 （指標①）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書活動推進にかかる連携施設数について、2か所閉鎖した施設があるため、23か所となりました。</li> <li>・読書活動を推進している連携施設や読書普及活動に取り組んでいる個人や団体と協力し、2023年3月のイベント「本でつながるフェスタ in 鶴川団地 ～本と人とまち～」を開催しました。当日は読書談義や各出展者のおすすめ本の紹介などを実施し、延べ約790人の方々にご来場いただきました。</li> <li>・冒険遊び場や保育園など子どものあつまる場所7か所に対し、移動図書館を合計57回出張運行し、資料の貸出・閲覧を行ないました。さらに、市内のイベントに3回参加し、日頃図書館を利用していない方も含め、本と出会う場所を創出しました。</li> </ul>
達成状況 （指標②）	B 目標を達成した
取組状況 （指標②）	読書マップは、2023年2月1日現在の情報に更新した改訂版を作成しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書活動を推進している連携施設や読書普及活動に取り組んでいる個人や団体と協力した取り組みについて、継続して検討する必要があります。</li> <li>・読書マップの内容を充実させるため、継続して情報を収集して増やしていく必要があります。</li> <li>・読書マップや読書活動を推進している連携施設、読書普及活動に取り組んでいる個人や団体の取り組みについて、効果的な情報提供方法を検討する必要があります。</li> </ul>
今後の取組の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書活動を推進している連携施設や読書普及活動に取り組んでいる個人や団体と協力したイベントについて、2023年度も継続します。</li> <li>・効果的な情報提供方法を検討します。</li> </ul>

■取組5-5 図書館利用者の利便性の向上	図書館
----------------------	-----

事業概要	インターネットやスマートフォンの普及、書籍のデジタル化により市民の読書スタイルは多様化しています。図書館に来館しなくても市民が読書をする機会が増えるよう、電子書籍の導入を目指します。				
これまでの取組	未実施				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	電子書籍サービスの導入		未実施	実施	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">                     先進事例の研究調査・ 補助金の調査・ 民間活手法導入検討                 </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">                     導入のための仕様作成と 実施に向けた準備                 </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">                     実施                 </div>
年度目標	調査	検討	仕様作成	実施準備	実施

<2022年度の事業実績>



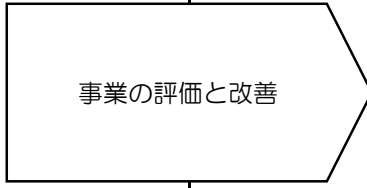

達成状況	A 計画以上に目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年10月18日から電子書籍サービスを開始しました。</li> <li>・図書館で特集コーナーの開設、公共交通機関でのポスターの掲示依頼や飲食店などで名刺サイズ広告の配布依頼など、電子書籍サービスをPRしました。</li> <li>・館内および出張して講座を実施し、電子書籍サービスの利用促進を行いました。</li> <li>・館内貸出用タブレット端末を配備し、デジタル環境をお持ちでない方にも電子書籍サービスを利用可能にしました。</li> <li>・市内の小中学生に利用していただけるよう、小中学校との連携に向け担当部署と調整を行いました。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入直後のため電子書籍サービスの認知度を上げる必要があります。</li> <li>・電子書籍コンテンツが紙の図書と比較して高額かつ点数が少ないという現状があります。</li> </ul>
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な場面でPRを行うことで、電子書籍サービスを市民に広く周知します。</li> <li>・常に魅力的な蔵書構成にするような選書を行うだけでなく、特集を定期的に公開することで、利用を促進します。</li> </ul>

事業概要	現在、紙の媒体で管理されている地域資料は、地域活動を行っていく上で重要な資料です。これらを積極的に活用できるよう、これまで蓄積してきた地域資料のデジタルアーカイブ*化を進めます。				
これまでの取組	未実施				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	地域資料のデジタルアーカイブ化の推進		未実施	実施	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
					
年度目標	検討	整理	データ作成	データ作成	実施

\*デジタルアーカイブ：電子図書館をはじめ、作品、文化財その他の情報をデジタル化して収集・保存・公開する活動や場の総称。

<2022年度の事業実績>

達成状況	D 目標に達しなかった
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ホームページ公開用の図書館資料の検討を行いました。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 紙の資料は時間や利用により劣化してゆくので、保存を急ぐ必要があります。</li> </ul>
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>• デジタル化して保存することにより後世にわたって提供できるよう、企業版ふるさと納税などの補助金を含めた財源について検討します。</li> </ul>

事業概要	図書館全館で利用者アンケート調査を実施し、図書館利用者のニーズを把握して、図書館サービスの改善に役立てます。				
これまでの取組	図書館全館での利用者アンケートを2009年度から3回実施しました。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	図書館利用者アンケートの実施		未実施	実施	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
					
年度目標	検討	実施	活用	活用	検討

<2022年度の事業実績>

達成状況	A 計画以上に目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年度から導入した指定管理者制度の効果を検証するために、利用者アンケートを全図書館で実施しました。</li> <li>・図書館を利用していない市民ニーズを把握するために「町田市生涯学習及び図書館に関する市民意識調査」を実施しました。</li> <li>・図書館電子書籍サービス及び図書館ボランティアについて、町田市市政モニターに対するアンケートを実施しました。</li> </ul> <p>これまでのアンケート調査において、以下の市民ニーズが高いサービスを実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴川駅前図書館で開館日時拡大やWi-Fiサービス提供、資料の消毒機設置を行いました。</li> <li>・10月から電子書籍サービスを始めました。</li> <li>・2月から中央図書館で電子書籍を閲覧できるタブレットの貸出を始めました。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者アンケートや市民意識調査、市政モニターアンケートの結果から市民のニーズを検証し、図書館利用に結び付ける必要があります。</li> <li>・開館日時拡大やWi-Fiサービス提供、タブレット貸出などの新たなサービスが、幅広く市民に利用されているのか検証が必要です。</li> <li>・指定管理者による運営の効果の検証が必要です。</li> </ul>
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者による運営の効果検証に基づき、今後の運営体制を検討します。</li> <li>・検証結果に基づき、図書館利用の拡大につながる事業展開を検討します。</li> </ul>

## 図書館評価

### 取組一覧 担当表 (案)

#### 2022年度実績

取組番号	取組名	図書館協議会	図書館
2-3	子ども読書活動の推進	中川 吉田 高橋	企画
2-5	生涯学習施設の利用促進		企画
2-9	図書館資料による情報提供機会の充実		企画
4-7	図書館運営の地域協働化の促進		企画
5-2	本と出会う場所の創出		企画
取組番号	取組名	図書館協議会	図書館
2-6	読書普及事業の充実	梶野 二川原 若色	企画・サービス
2-7	シニア世代向け事業の充実		サービス
2-8	障がい者サービスの充実		サービス
3-8	レファレンスサービスの充実		サービス
4-3	地域で活動するボランティアの養成・支援		サービス
取組番号	取組名	図書館協議会	図書館
2-4	学校図書館との連携強化	仲村 福田 山中	さるびあ
5-5	図書館利用者の利便性の向上		資料管理
5-6	地域資料の活用の推進		資料管理
5-7	市民のニーズに合った図書館事業の実施		総務

<2023年8月8日図書館協議会当日配布資料>

町田市教育プラン24-28（案）から図書館関連の施策・重点事業を抜粋

---

## 町田市教育プラン 24-28(案)

---





### (3) 施策の体系

施策	重点事業
<b>基本方針Ⅰ 未来を切り拓くために生きる力を育む</b>	
<b>1</b> 確かな学力を身に付ける	<b>1</b> 児童生徒の「学び続ける力」を高めるための授業の改革 …>42ページ <b>2</b> 放課後学習の充実 …>44ページ
<b>2</b> 未来を見据えた特色ある学びを推進する	<b>3</b> えいごのまちだの推進 …>48ページ <b>4</b> STEAM教育の視点を取り入れた科学教育の充実 …>52ページ <b>5</b> ICTを活用した学びの充実 …>54ページ <b>6</b> キャリア教育の推進 …>56ページ <b>新規7</b> 町田市の未来の学びLab …>58ページ
<b>3</b> 生涯を通じて健やかに過ごせる体を育成する	<b>8</b> 健康教育の推進 …>61ページ <b>9</b> 「わかる・できる・楽しい」体育授業の実践 …>62ページ <b>10</b> 楽しく運動する機会の充実 …>64ページ <b>11</b> 学校給食を活用した食育の推進 …>66ページ
<b>4</b> 他人への理解、豊かな心、思いやりを育む	<b>12</b> 「いじめを防ぐ・いじめに気付く・いじめから守る」取組の推進 …>70ページ <b>新規13</b> 児童生徒が主体的に考え、伝え合う機会の充実 …>72ページ
<b>5</b> 学びのきっかけとなる機会を提供する	<b>14</b> まちだの歴史・文化を学ぶ機会の充実 …>76ページ <b>15</b> ことばの魅力を伝える“ことばの扉”事業の推進 …>78ページ <b>16</b> 子ども・若者の読書活動の推進 …>79ページ <b>17</b> 学びの入口の充実 …>80ページ <b>18</b> 学びにつなげる図書館体験 …>81ページ
<b>基本方針Ⅱ 一人ひとりの多様な学びを推進する</b>	
<b>1</b> 不登校児童生徒への支援を推進する	<b>19</b> 不登校児童生徒への支援の充実 …>84ページ
<b>2</b> 一人ひとりの特性に応じた特別支援教育を推進する	<b>20</b> 特別な支援を必要とする児童生徒への支援の充実 …>88ページ
<b>3</b> 誰もが学べる機会を提供する	<b>新規21</b> 帰国・外国籍児童生徒等への日本語指導の充実 …>94ページ <b>22</b> 学びのセーフティネットの充実 …>96ページ <b>23</b> 多様な図書館サービスの提供 …>98ページ

基本方針Ⅲ 将来にわたり学ぶことができる環境を整備する

1 将来を見据えた多様な  
学びの環境を整備する

- 24 学校におけるICT環境の整備 …>102ページ
- 25 特別支援学級等の整備 …>104ページ
- 26 不登校児童生徒の学習環境の整備 …>105ページ
- 27 新たな学校づくりの推進 …>108ページ
- 新規28 安心できる通学環境の整備 …>110ページ
- 新規29 学校プール施設の機能向上 …>112ページ
- 30 学校図書館の機能強化 …>114ページ

2 学び続けることができる  
環境を整備する

- 31 生涯学習情報のデジタル化の推進と学習相談体制の整備 …>118ページ
- 32 まちだの歴史・文化資源の保存と活用環境の整備 …>120ページ
- 33 図書館再編と運営体制の構築 …>122ページ

基本方針Ⅳ 地域とともに学ぶ力を高める

1 学校と地域が連携した  
学びを推進する

- 34 コミュニティ・スクールの推進 …>126ページ
- 35 部活動の地域連携の推進 …>128ページ
- 新規36 学校施設活用の推進 …>130ページ

2 地域での学びを推進する

- 37 地域での学びの拡充 …>134ページ
- 新規38 図書コミュニティ施設の運営支援 …>136ページ
- 39 地域で活動する図書館ボランティアの育成・支援 …>137ページ
- 新規40 学びのネットワークづくりの促進 …>138ページ

3 教員の働き方を改善する

- 新規41 教員が担う業務の負担軽減 …>144ページ
- 新規42 学校支援体制の強化 …>146ページ

## 施策 5. 学びのきっかけとなる機会を提供する

目指す姿

市民が身近な場所で学びに触れる機会が充実している。

### 成果指標

指標	生涯学習活動を行う機会をもつことができた市民の割合(町田市市民意識調査)	現状値(2022年度)	目標値(2028年度)
		24.7%	41.5%

指標	本を読む市民の割合(町田市生涯学習及び図書館に関する市民意識調査)	現状値(2022年度)	目標値(2028年度)
		59.1%	68.0%

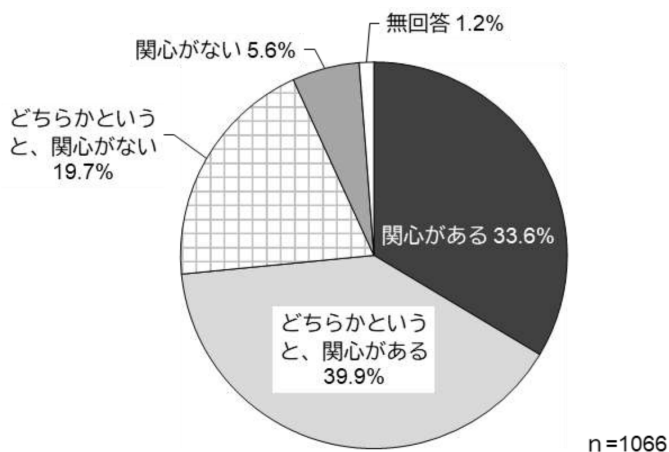
該当する重点事業	内容
重点事業 14	まちだの歴史・文化を学ぶ機会の充実
重点事業 15	ことばの魅力伝える”ことばの扉”事業の推進
重点事業 16	子ども・若者の読書活動の推進
重点事業 17	学びの入口の充実
重点事業 18	学びにつなげる図書館体験

### 現状と課題

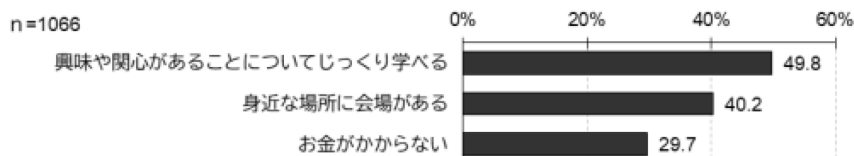
#### ■現状

生涯学習活動に「関心がある」又は「どちらかという、関心がある」と回答した市民は7割以上と高くなっています。また、学習講座等への参加の際は、約4割の市民が「身近な場所に会場がある」ことを重視しています。

▷町田市生涯学習及び図書館に関する市民意識アンケート調査結果「生涯学習活動への関心度」



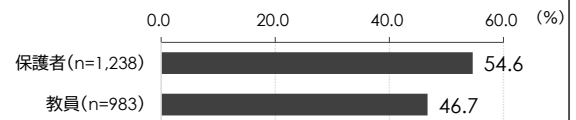
▷町田市生涯学習及び図書館に関する市民意識調査結果「学習講座やイベント、展覧会などに参加する際、重視する点」(上位3位のみ抜粋)



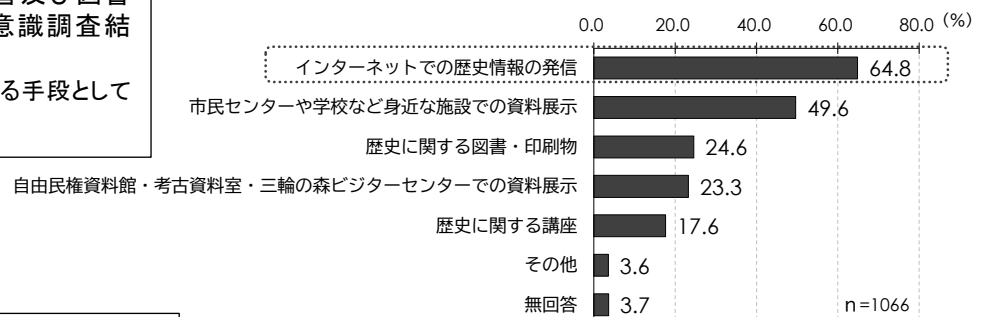
## ■現 状

- ・児童生徒が、地域の伝統や文化を大切にし、郷土を愛する心が身に付いていないと感じている保護者及び教員は5割前後と高くなっています。
- ・町田市の歴史を知る手段として必要だと思うこととして、「インターネットでの歴史情報の発信」が最も高くなっています。
- ・約4割の市民は本をほとんど読まないと回答しています。

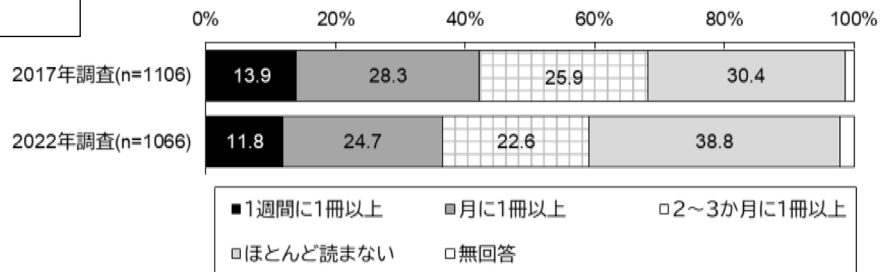
▷児童生徒の保護者用・教員用アンケート調査結果  
「地域の伝統や文化を大切にし、郷土を愛する心」が“身に付いていない”と回答した割合  
(保護者回答と教員回答)



▷町田市生涯学習及び図書館に関する市民意識調査結果  
「町田市の歴史を知る手段として必要だと思うこと」



▷町田市生涯学習及び図書館に関する市民意識調査結果  
「本を読む頻度」



## ■課 題

- ・人生 100 年時代を迎え、ライフステージに応じて生涯を通じて学びにアクセスできるよう、市民に身近な場所での学びの入口を提供することが必要です。
- ・地域の歴史・伝統や文化は、地域への誇りや愛着を生むきっかけとなるものです。町田デジタルミュージアムなどを活用し、子どもたちの興味・関心を高める工夫もしながら、地域の歴史・伝統や文化を学ぶ機会を充実する必要があります。
- ・本を読む市民の割合が低くなる中で、本と出会うことや文学に触れる体験を通じて、子どもや若者の創造力を高めて豊かな心を育むことが重要です。

重点事業 16 子ども・若者の読書活動の推進

目的

子どもや若者が多種多様な情報から主体的に必要な情報を選び、自身の考えを形成する能力を身に付けることができるように、子ども・若者の読書活動を推進します。

対象 市民

●属性 継続／発展

●所管課 図書館

概要

- 「第五次町田市子ども読書活動推進計画(2025年度～2029年度)」を策定し、推進します。
- 読書や図書館に興味をわくようなイベントを実施し、子どもや若者が読書や図書館に興味をもつきっかけをつくります。
- 文学館では絵本や児童文学などを題材にした展覧会・イベントを開催し、絵本や物語の魅力を伝えます。

デマンド  
サイドの視点

▶市民: イベント等へ参加することにより、読書に興味をもつ機会が増えます。

経営の視点

▶子どもの成長に合わせた取組を行い、読書習慣が身に付くように読書活動を推進します。

独自性の視点

▶子どもや若者が読書に興味をもつように、子どもや若者自身が参画できる読書普及イベントを実施します。

学び続ける  
力の要素

○子どもや若者が読書に興味をもつことにより、新たな学びや自ら学ぶきっかけをつくり出します。

活動指標と工程表

活動指標	現 状 2022 年度	工程表				
		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
①「第五次町田市子ども読書活動推進計画(2025年度～2029年度)」の策定と推進		計画の検討・策定	事業の推進・進捗管理			
指標の達成状況 ▶	—	策定	推進	推進	推進	推進
②若者が参画する読書普及イベントの実施件数		企画・実施・検証				
指標の達成状況 ▶	1 件	2 件	2 件	3 件	3 件	3 件
③絵本、児童文学、漫画を題材にした展覧会の実施		企画・実施・検証				
指標の達成状況 ▶	実施	実施	実施	実施	実施	実施

この重点事業と  
連動して推進する  
関連事業

- ・基本方針Ⅲ-1-重点事業 30「学校図書館の機能強化」P114
- ・基本方針Ⅳ-2-重点事業 39「地域で活動する図書館ボランティアの育成・支援」P137

重点  
事業

# 18

## 学びにつなげる図書館体験

### 目的

・市民の学びのきっかけとなるように、図書館サービスをより多くの人に体験してもらう取組を実施します。

**対象** 市民

●属性

継続／発展

●所管課

図書館

### 概要

- 自分に合った図書館の利用方法を知ってもらうための講座等を実施します。
- 本との出会いをつくるため、移動図書館によるイベントへの出張運行や保育園・幼稚園への訪問活動を実施します。
- 暮らしの中で役に立つレファレンス事例を紹介するリーフレット等を作成するなど、レファレンスサービス\*を身近に感じる取組を実施します。

### デマンド サイドの視点

▶市民：図書館が使いやすくなることや、自分のネット検索では手に入れない情報を得ることにより、生活の質の向上が図られます。また、移動図書館によるイベントへの出張運行や保育園・幼稚園への訪問活動により、本との新しい出会いが増えます。

### 経営の視点

▶子どもから大人まで、あらゆる世代を対象にした体験を提供できます。

### 独自性の視点

- ▶一日図書館員等の人気のコンテンツを活用できます。
- ▶移動図書館を3台もつ自治体は都内では町田だけで、機動性を生かした図書館体験を提供できます。
- ▶市民に寄り添ったきめ細かいレファレンスサービスを提供します。

### 学び続ける 力の要素

○必要な知識や情報を図書館で調べる方法を知ってもらうことにより、生涯にわたって学びを支えます。

### 活動指標と工程表

活動指標	現 状 2022 年度	工程表				
		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
①図書館講座・図書館員体験の実施回数		企画・実施・検証				
指標の達成状況 ▶	8回	8回	8回	8回	8回	8回
②移動図書館の出張運行回数		企画・実施・検証				
指標の達成状況 ▶	8回	10回	10回	12件	12回	12回
③レファレンスサービスの推進件数		レファレンスの実施				
指標の達成状況 ▶	3,853件	4,000件	4,050件	4,100件	4,150件	4,200件

### この重点事業と 連動して推進する 関連事業

・基本方針Ⅱ-3-重点事業23「多様な図書館サービスの提供」P98

※ レファレンスサービス…利用者からの様々な調べものや探し物について、図書館の資料や機能を活用してお手伝いするサービスのこと。

### 施策3. 誰もが学べる機会を提供する

目指す姿

誰もが、必要とする知識や技能を習得する機会がある。

#### 成果指標

指標	帰国・外国籍児童生徒等が日本語指導を利用し、日常会話ができる程度に日本語を習得できている割合(町田市日本語指導利用状況調査)	現状値(2022年度)	目標値(2028年度)
		—%	100.0%

指標	必要とする知識や技能を習得することができる市民の割合(町田市生涯学習及び図書館に関する市民意識調査)	現状値(2022年度)	目標値(2028年度)
		30.3%	40.0%

該当する重点事業

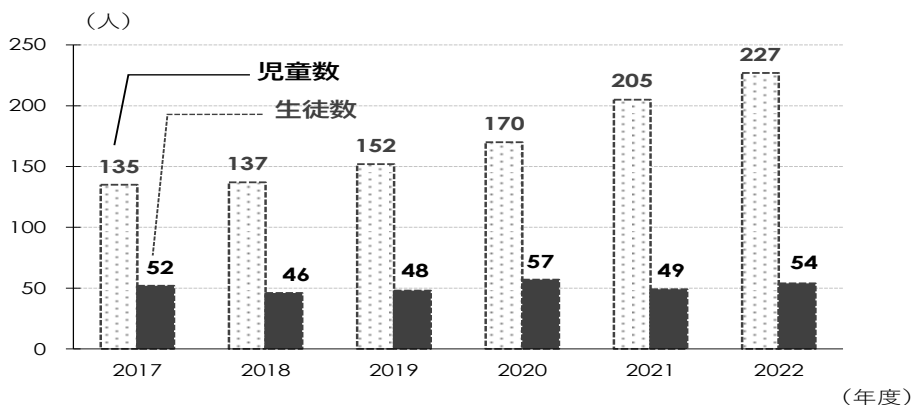
- ・重点事業 21 帰国・外国籍児童生徒等への日本語指導の充実
- ・重点事業 22 学びのセーフティネットの充実
- ・重点事業 23 多様な図書館サービスの提供

#### 現状と課題

##### ■現状

・町田市立の小学校に通う外国人児童は、2017年度と2022年度で比較すると約1.6倍となっています。また、町田市立の中学校に通う外国人生徒は、ほぼ横ばいですが、小・中学校全体としては増加傾向にあります。

<町田市立小・中学校の外国人児童生徒数の推移>



出典：町田市教育委員会調べ



## ■現 状

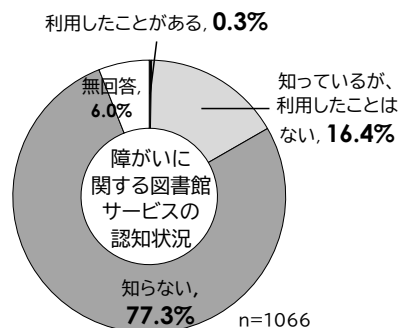
・外国にルーツのある子どもとその保護者は、言語の違い等から地域になじめず、相談ができる相手がない、情報が得にくいなどの状況があります。

### ▷教育相談員ヒアリング 調査結果

(意見)「外国にルーツがある子どもとその保護者には、言語の違いの問題もあり、地域コミュニティに入りづらいことが課題となっている場合や、子どもの発達に関する悩みも同様の課題から身近に相談できず、コミュニティ形成に関する情報提供等で支援している」

・図書館で行っている障がい者向けのサービス（宅配サービスや対面朗読など）は、7割以上の方が「知らない」と回答しており、「知っているが利用したことがない」と回答した方と合わせると9割を超える状況です。

### ▽市民用アンケート調査結果 図書館で行っているサービスの認知状況 (障がいに関係する項目のみ抜粋)



・また、学びの機会の提供について、65.2%の市民が「必要とする知識や技能を十分に習得することができていない」と回答しています。(参考) 19 ページ「関連データ①学びの機会の提供」



## ■課 題

- ・外国にルーツがある子どもたちにも十分な教育が提供され、必要な情報が得られる環境づくりを支援していく必要があります。
- ・障がいのある人が、より図書館を利用しやすくするための取組をさらに周知し、障がいの有無に関わらず学びの機会が提供される環境づくりを推進することが重要です。

重点事業 23

多様な図書館サービスの提供

目的

・全ての人が自分の利用しやすい方法で読書ができるよう、読書バリアフリー法に基づいたサービスを提供します。

対象 市民

●属性 継続／発展

●所管課 図書館

概要

- 対面朗読、音訳資料や点訳資料の製作・貸出、資料の郵送貸出サービスなどを行い視覚障がい者等へサービスを提供します。また、図書館への来館が困難な市民に向けて宅配サービスを提供します。電子書籍の特性を生かし、来館が困難な市民の読書を支援します。
- 展示等によりディスレクシア(識字障がい)等を含めた障がい者サービスのPRを行い、利用を促進します。
- 対面朗読などを行っているボランティアの技術向上に向けた講座や、新たにボランティアに興味をもてるような講座を開催します。
- デージー(デジタル録音図書)再生機器の貸出や操作支援をすることで、障がい者のデジタル資料の活用を促進します。

デマンド  
サイドの視点

▶市民:障がい等の事由があっても、読書ができる環境をもつことができます。

経営の視点

▶ボランティアとの協力体制を継続します。

独自性の視点

▶市内のボランティアと連携・協力することで、障がい者のニーズに的確に対応することができます。

学び続ける  
力の要素

○的確なサービスを提供することにより、視覚障がいや識字障がいなどがある方や、図書館への来館が困難な方なども学び続けることができます。

## 活動指標と工程表

活動指標	現 状 2022 年度	工程表				
		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
①障がい者サービス PR 展示等の実施 件数		PR 展示等の企画・実施・検証				
指標の達成状況 ▶	5 件	5 件	6 件	6 件	7 件	7 件
②障がい者サービスボランティア養成 講座の受講者数		養成講座の実施				
指標の達成状況 ▶	18 人 <sup>※</sup>	10 人	10 人	10 人	10 人	10 人
③デイジー再生機器貸出・操作支援		貸出・操作支援の企画・実施・検証				
指標の達成状況 ▶	—	実施	実施	実施	実施	実施

※講座内容は毎年異なるため、2022 年度は一時的に受講者が増加しましたが、少人数による実習形式の講座を基本としていることから、工程表では毎年 10 人を指標としています。

### この重点事業と 連動して推進する 関連事業

- ・基本方針 I -5-重点事業 18「学びにつなげる図書館体験」P81
- ・基本方針 IV-2-重点事業 39「地域で活動する図書館ボランティアの育成・支援」P137

### デイジー【DAISY】

DAISY 図書とは、目が見えない方や本を読むことが難しい方のための「音の本」です。見た目は CD と同じですが、章ごとに区切りがついて好きなところから再生できたり、聞く速さを変えたりできるように作られています。専用再生機やパソコンなどで簡単な操作で聞くことができます。



## 施策 1. 将来を見据えた多様な学びの環境を整備する

目指す  
姿

社会環境が変化する中でも、その状況に対応し、小・中学校の教育環境が整備されている。

### 成果指標

指標	町田市立の小学校、中学校は教育環境が整っていると思う市民の割合 (町田市市民意識調査)	現状値(2022年度)	目標値(2028年度)
		43.7%	54.6%
指標	一人ひとりに配備されたPC・タブレットなどのICT機器を授業でほぼ毎日活用している学校の割合 (全国学力・学習状況調査)	現状値(2022年度)	目標値(2028年度)
		小6 81.0%	小6 100.0%
		中3 40.0%	中3 100.0%
指標	市や警察が行う交通安全の取組のうち、「見守りや点検等の通学路での子どもの交通安全確保」について、以前より進んだと思う市民の割合 (町田市交通安全に関する市民意識調査)	現状値(2021年度)	目標値(2026年度)
		29.5%	36.0%
指標	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)読書をする児童・生徒の割合 (全国学力・学習状況調査)	現状値(2022年度)	目標値(2028年度)
		小6 75.3%	小6 81.4%
		中3 66.5%	中3 71.4%

該当する  
重点事業

- ・重点事業 24 学校におけるICT環境の整備
- ・重点事業 25 特別支援学級等の整備
- ・重点事業 26 不登校児童生徒の学習環境の整備
- ・重点事業 27 新たな学校づくりの推進
- ・重点事業 28 安心できる通学環境の整備
- ・重点事業 29 学校プール施設の機能向上
- ・重点事業 30 学校図書館の機能強化

## 現状と課題

### ■現 状

- ・国が試算する町田市の人口推計では、2021～2025 年の間に人口のピークを迎え、減少傾向に転じる予測となっています。（参考）14 ページ「関連データ①今後の人口の動向」
- ・学校統合を行わなかった場合には、2044 年度までに、築 60 年が到来する学校は 55 校となります。（参考）14 ページ「関連データ②町田市立学校施設の老朽化の状況」
- ・小学校 6 年生と中学校 3 年生に対して、前年度までに、一人ひとりに配備された PC・タブレットなどの ICT 機器を授業でどの程度活用しましたかという問いについて、「ほぼ毎日」と回答した割合をみると、小学校は全国を上回っていますが、中学校は全国や東京都を下回っています。

＜タブレット等 ICT 機器の授業での活用頻度＞ (単位 %)

		ほぼ毎日	週 3 回以上	週 1 回以上	月 1 回以上	月 1 回未満	
		小学校	町田市	81.0	16.7	2.4	0.0
	東京都	73.5	19.8	6.1	0.3	0.1	
	全国	58.2	26.9	12.6	2.1	0.1	
中学校		ほぼ毎日	週 3 回以上	週 1 回以上	月 1 回以上	月 1 回未満	
		町田市	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0
		東京都	62.8	22.5	11.6	2.7	0.3
		全国	55.5	25.7	14.4	3.8	0.5

(2022 年度全国学力・学習調査)

- ・「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）読書する」と答えた児童・生徒の割合は、5 年前の調査と比較して、小学校では 5 ポイント、中学校では 2.6 ポイント下がっています。

	2017 年度	2022 年度
小 6	80.3%	75.3%
中 3	69.1%	66.5%

(2022 年度全国学力・学習調査)



### ■課 題

- ・本市が人口減少に転じる境目にあり、少子化も視野に入れた学校施設の新設・改修を計画的に進め、学校環境の改善・向上及び学校外で子どもたちが学べる環境の整備・充実を図っていく必要があります。
- ・国の GIGA スクール構想の推進により、学校での一人 1 台タブレット端末配布は実現しましたが、教員や学校での利用に差がみられる状況があります。より活用しやすい環境の整備が必要とされています。
- ・児童生徒の読書時間は、減少傾向にあります。電子書籍の活用など社会変化に合わせた読書環境を整備していく必要があります。

重点事業 30

学校図書館の機能強化

目的

・児童生徒が本に触れ合う機会を増やし、豊かな知識や心をもつことができるよう、学校図書館の機能を強化していきます。

対象

児童生徒・教員・市民

●属性 継続／発展

●所管課 教育総務課・指導課・図書館

概要

- 引き続き全校で学校図書館図書標準<sup>※1</sup>の達成を維持していきます。
- 市独自の学校図書館図書廃棄基準を策定し、計画的な図書の廃棄、更新を進めていきます。
- 学校図書館の運営を担う人材確保の方法を検討します。
- 市立図書館による団体貸出と学校図書館支援貸出を実施します。
- 市立図書館による学校図書指導員<sup>※2</sup>への研修協力を行います。
- 市立図書館の電子書籍サービスを学校の授業へ活用します。

デマンド  
サイドの視点

- ▶児童生徒：充実した学校図書館を整備することで、本への関心が高まり豊かな知識や心が養えます。
- ▶教員：授業支援に役立ちます。

経営の視点

- ▶学校図書館の機能充実を図るべく、電子書籍の活用や運営を担う学校司書<sup>※3</sup>等の人材を確保する方法を検討していきます。

独自性の視点

- ▶目標を定めた効果的な更新や電子書籍の活用などにより、町田市の学校図書館の特長を拡張していきます。

学び続ける  
力の要素

- 学校図書館の機能強化により、児童生徒の主体的・意欲的な学習活動や読書活動を充実させ、学び続ける力を育むことができます。

※1 学校図書館図書標準…公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準数

※2 学校図書指導員…市内小・中学校に設置する学校図書館を利用し、図書教育の充実を図るため、司書教諭の補助者として従事する者。従事内容としては、蔵書管理、図書館の環境整備等がある。1日4時間程度、有償ボランティアとして活動している。

※3 学校司書…専ら学校図書館の職務に従事する学校事務職員。

## 活動指標と工程表

活動指標	現 状 2022 年度	工程表				
		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
①学校図書館図書標準達成校数		学校図書館図書標準を維持した図書の整備				
指標の達成状況 ▶	全校	全校	全校	全校	全校	全校
②学校図書更新比率全国平均以上の達成校数（累計）		廃棄基準策定	作成した廃棄基準に基づく図書の更新			
指標の達成状況 ▶	31 校	31 校	38 校	45 校	52 校	全校
③学校司書等の学校図書館の運営を担う人材確保		方法の検討	小学校モデル事業実施	小・中学校モデル事業実施拡充・改善		実施
指標の達成状況 ▶	—	検討	実施	実施	実施	実施
④市立図書館の電子書籍サービスの学校での活用		モデル事業実施拡充・改善		学校での活用		
指標の達成状況 ▶	—	改善	改善	実施	実施	実施

この重点事業と連動して推進する関連事業

- ・基本方針Ⅰ-施策5-重点事業16「子ども・若者の読書活動の推進」P79
- ・基本方針Ⅳ-施策3-重点事業42「学校支援体制の強化」P146

まちだ  
教育コラム  
17

### 電子書籍サービス

市立図書館は、2022年10月から電子書籍サービスを開始しました。電子書籍サービスとは、スマートフォン等の端末を介して電子書籍を読むことができるサービスです。これにより、いつでも・どこでも・来館せずに本を借りることができるようになりました。さらに、一部の和書では音声読み上げ機能や拡大機能を使用することができ、より多くの方が本に親しめる環境となりました。

このサービスを、学校授業でも活用できるよう準備を進め、朝読書、家読書などの、読書活動を推進していきます。

また、洋書には音声付き電子書籍もありますので、英語に親しむ機会の充実につながることを期待しています。



電子書籍サービスキャラクター「ブックロー」

## 施策 2. 学び続けることができる環境を整備する

目指す姿

市民が生涯にわたり学習しやすい環境が整備されている。

### 成果指標

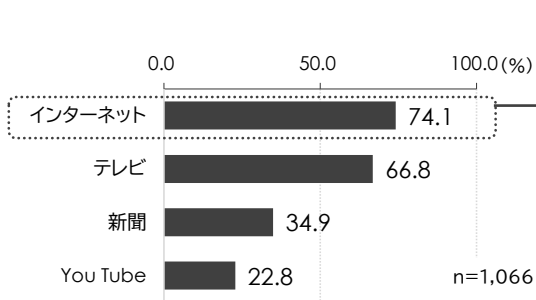
指標	生涯学習活動を行う機会を持つことができた市民の割合 (町田市市民意識調査)	現状値(2022年度)	目標値(2028年度)
		24.7%	41.5%
指標	町田市内にある文化財の中で知っているものがある市民の割合 (町田市生涯学習及び図書館に関する市民意識調査)	現状値(2022年度)	目標値(2028年度)
		80.0%	89.0%
該当する重点事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>重点事業 31 生涯学習情報のデジタル化の推進と学習相談体制の整備</li> <li>重点事業 32 まちだの歴史・文化資源の保存と活用環境の整備</li> <li>重点事業 33 図書館再編と運営体制の構築</li> </ul>		

### 現状と課題

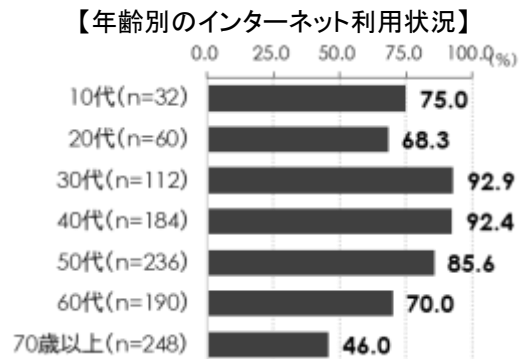
#### ■現状

- ・日常の情報源として、「インターネット」の利用は最も高く7割を超えています。また、年齢別にみても、70歳以上を除くその他の年齢で半数以上が利用しており、特に30代、40代は9割以上がインターネットを利用している状況です。

▽市民用アンケート調査結果  
日常の情報源(上位4位のみ抜粋)

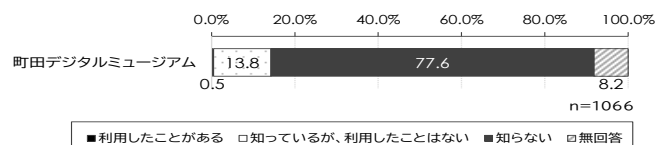


▽市民用アンケート調査結果  
日常の情報源でインターネットを利用(年齢別)



- ・町田デジタルミュージアムは9割以上の市民が利用したことがない、又は知らない状況です。

▽市民用アンケート調査結果  
生涯学習施設・サービスの認知状況  
(町田デジタルミュージアムのみ抜粋)

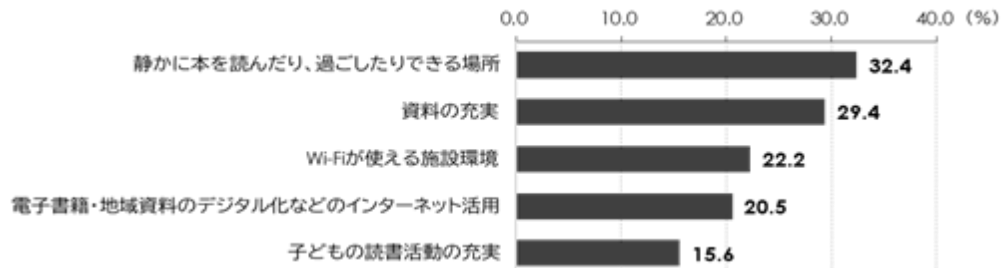




## ■現 状

- ・図書館で取り入れてもらいたいこととして、図書館環境の整備から質の向上、デジタル化、企画・イベントなど、市民のニーズが多岐にわたっている状況です。

▽市民用アンケート調査結果 図書館で取り入れてもらいたいこと(上位5位のみ抜粋)



## ■課 題

- ・多くの市民が年齢に関わらずインターネットを利用していることから、生涯学習の情報提供や町田市の歴史・文化資源の活用方法についても、バーチャルとリアルを併用することが求められています。
- ・図書館の利用については市民のニーズが多岐にわたることから、図書館が市民にとってより利用しやすくなるよう多機能化・多目的化を図るなど、設備機能面・運用体制面の両面からの検討が重要です。

まちだ  
教育コラム

18

### 町田の歴史をいつでもどこでも知る！見る！楽しむ！「町田デジタルミュージアム」

「町田デジタルミュージアム」は、インターネットを通じて町田の歴史をわかりやすく紹介するデジタルアーカイブです。

町田市が所蔵している考古・歴史・民俗資料のうち、約 2,000 点をご覧いただくことができます。縄文土器や、まちだ縄文キャラクター「まっくう」のモデルとなった町田市指定有形文化財「中空土偶頭部」の空洞などを、実際に手に取って見ているかのような 3D 画像で 360 度回転させて見ることができます。また、通常は公開していない横穴墓(古墳時代のお墓)の内部も 3D パノラマビューで詳しく見ることができます。

学芸員が行う小・中学校での出張歴史授業では、町田市所蔵の本物の歴史資料(縄文土器、昔の道具など)を使うだけでなく、タブレット端末を使って「町田デジタルミュージアム」の様々な資料を紹介しています。出張歴史授業で「町田デジタルミュージアム」に触れ、興味をもった児童生徒が、自分たちの住む地域の歴史を自ら学ぶきっかけづくりを行っています。



町田デジタルミュージアム



ここから  
アクセス！

まちだ縄文キャラクター  
「まっくう」

重点事業 33

図書館再編と運営体制の構築

目的

- 図書館サービスを安定的に果たし、新たな価値を創出するために、図書館の再編と運営体制の効率化について検討を行います。

対象 市民

● 属性

新規

● 所管課

図書館

概要

- さるびあ図書館と中央図書館の再編においては、地域住民との対話を通じて最適な集約方法を目指します。
- 再編後の鶴川図書館について、地域住民の参画を進め、地域と「共に創り」「共に運営する」図書コミュニティ施設※へと転換します。
- 図書館全体の効率的・効果的な運営体制の検討・構築を目指します。

デマンド  
サイドの視点

▶ 市民：市民がライフステージに応じ必要となる知識・情報等を「いつでも・どこでも・だれでも」自由に手に入れることができる環境を整備して、市民の知的で心豊かな生活の実現に寄与します。

経営の視点

▶ 効率的・効果的な運営体制が構築できます。

独自性の視点

▶ 利用者、地域の関係団体など幅広い市民が、図書館の再編について共に考えていくことで、将来にわたって長く愛着をもってもらえる公共空間づくりが可能となります。

学び続ける  
力の要素

○ ライフステージに応じ必要となる知識・情報等を「いつでも・どこでも・だれでも」手に入れることができる環境を整備して、市民の知的で心豊かな生活の実現に寄与することで、市民は安定して学び続けることができます。

※ 図書コミュニティ施設…本を介して目的や用事がなくても気軽に過ごせる地域の居場所となるよう、本の閲覧や貸出を行う「図書提供機能」と、利用者同士や地域の方々との会話や地域活動等を生み出す「コミュニティ機能」を併せもつ、地域の方々为主体となって運営する施設。

## 活動指標と工程表

活動指標	現 状 2022 年度	工程表				
		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
①さるびあ図書館と中央図書館の集約		地域との対話・検討		集約方法の決定		
指標の達成状況 ▶	—	検討	検討	集約方法の決定		
②鶴川図書館の図書コミュニティ施設への転換と運営支援		地域運営団体への一部委託		図書コミュニティ施設の民設・民営化		運営支援
指標の達成状況 ▶	—	図書コミュニティ施設への転換	施設民営化の検討・実施	施設民営化の検討・実施	図書コミュニティ施設への支援	図書コミュニティ施設への支援
③図書館全体の運営体制の検討・構築		指定管理・協働運営の検証				検討結果による運営の実施
指標の達成状況 ▶	—	検証	検証	検証	実施	実施

この重点事業と  
連動して推進する  
関連事業

・基本方針Ⅳ-施策 2-重点事業 38「図書コミュニティ施設の運営支援」P136

### 図書コミュニティ施設のイメージ



## 施策 2. 地域での学びを推進する

目指す姿

市民が地域の様々な場所で、学校・団体・企業などと連携し学びに参画することで、地域が活性化している。

### 成果指標

指標	この1年間に生涯学習施設等を利用したことがある市民の割合 (町田市生涯学習及び図書館に関する市民意識調査)	現状値(2022年度)	目標値(2028年度)
		63.8%	70.0%

指標	この1年間に市民活動(ボランティアやNPOなど)や地域活動(町内会・自治会、子ども会など)に参加した市民の割合 (町田市生涯学習及び図書館に関する市民意識調査)	現状値(2022年度)	目標値(2028年度)
		32.5%	45.0%

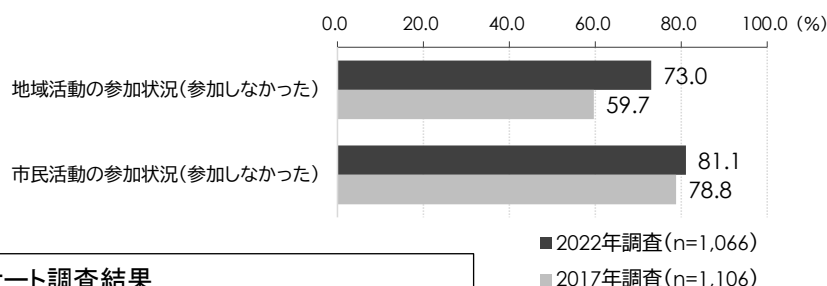
該当する重点事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>重点事業 37 地域での学びの拡充</li> <li>重点事業 38 図書コミュニティ施設の運営支援</li> <li>重点事業 39 地域で活動するボランティアの育成・支援</li> <li>重点事業 40 学びのネットワークづくりの促進</li> </ul>
----------	--

### 現状と課題

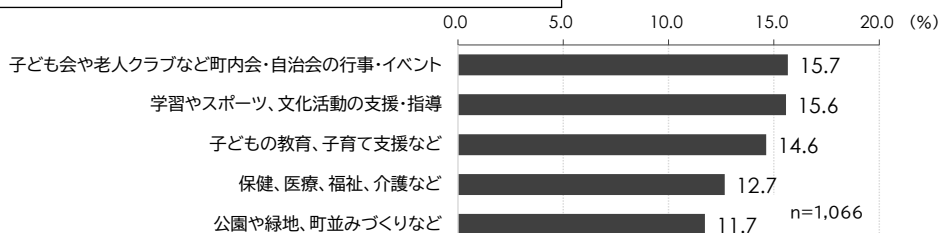
#### ■現状

・地域活動や市民活動に参加しなかった市民の割合は、5年前から増加しています。また、参加したい地域活動・市民活動としては、子ども会や老人クラブなど町内会・自治会の行事・イベント、学習やスポーツ、文化活動の支援・指導、子どもの教育、子育て支援などのニーズが比較的高く、子どもを中心とした活動が、関わりやすい傾向がうかがえます。

▽市民用アンケート調査結果  
地域活動・市民活動に参加しなかったと回答した割合(2022年調査と2017年調査)



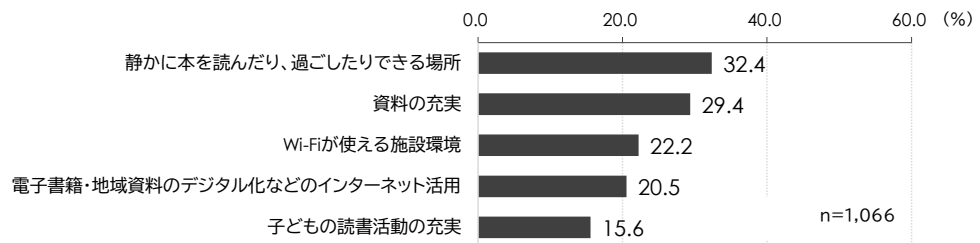
▽市民用アンケート調査結果  
今後、参加したい地域活動・市民活動(上位5位まで抜粋)



## ■現 状

- ・図書館で取り入れてもらいたいこととして、図書館環境の整備や充実、デジタル化など、市民のニーズが多岐にわたっている状況です。(再掲)

▽市民用アンケート調査結果(再掲)  
図書館で取り入れてもらいたいこと(上位5位のみ抜粋)



## ■課 題

- ・地域活動や市民活動に参加しなかった市民の割合が多くなっている中で、地域の身近な場所で学びのきっかけづくりや支援の仕組みを構築することにより、新たな価値を生み出す必要があります。

重点事業 38 図書コミュニティ施設の運営支援

目的

・誰もが安心して過ごせる地域の居場所や住民が活躍できる場をつくり、地域の活性化を図ります。

対象 市民

属性

新規

所管課

図書館

概要

- 再編後の鶴川図書館について、地域住民の参画を進め、地域と「共に創り」「共に運営する」図書コミュニティ施設へと転換します。(再掲)
- 地域住民が主体となって読書普及活動に参画し、多様なイベントや事業を実施することで、人を呼び込みます。
- 予約資料の受渡しなどの図書提供機能と居心地の良い空間があり、多世代が交流できるきっかけを提供するコミュニティ機能を併せ持った地域施設を目指します。
- 本に触れ合う機会を継続できるようにするため、必要な支援を行います。

デマンド  
サイドの視点

▶市民: イベントや事業を自ら企画し実施することで、やってみたいことを実現することができ、新たな利用者呼び込み、地域の活性化が期待できます。  
また、地域住民を主体とした運営を実施することで、利用者と顔が見える関係を構築し、安心して過ごすことができます。

経営の視点

▶地域住民を主体とした運営により、地域の実情に合わせた柔軟な対応が可能です。

独自性の視点

▶公共施設再編を機能転換の好機と捉え、市民との共創・協働で本に触れ合う図書コミュニティ施設へと転換し、団地や商店街の活性化も目指していく意欲的で先進的な取組です。

学び続ける  
力の要素

○誰もが安心して過ごせる地域の居場所を創ることで、学び続ける環境を整えます。

活動指標と工程表

活動指標	現状 2022年度	工程表				
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
①鶴川図書館の図書コミュニティ施設への転換と運営支援(再掲)		地域運営団体への一部委託	図書コミュニティ施設の民設・民営化		運営支援	
指標の達成状況	—	図書コミュニティ施設への転換	施設民営化の検討・実施	施設民営化の検討・実施	図書コミュニティ施設への支援	図書コミュニティ施設への支援

この重点事業と連動して推進する関連事業

・基本方針Ⅲ—施策2—重点事業33「図書館再編と運営体制の構築」P122

重点事業 39

地域で活動する図書館ボランティアの育成・支援

目的

・魅力的な本と出会い読書に関心をもってもらうため、本と触れ合うことができる活動がより地域で活発に行われるよう、地域や学校で活動するボランティアを支援します。

対象 市民

●属性

継続／発展

●所管課

図書館

概要

- おはなし会など本に関する活動を行うボランティアを育成するとともに、ボランティアが行うおはなし会の開催を支援します。
- 点訳や音訳のボランティアの技術向上や、おはなし会を実施できる担い手の裾野を広げるための講座を開催します。

デマンド  
サイドの視点

- ▶子ども:おはなし会を実施できる担い手の裾野が広がることで、幼少期から本に触れる機会が増え、楽しく言葉を学ぶことができます。
- ▶市民:様々な本に出会うことにより、興味関心の幅が広がります。また、自分が学んだ技能を活かす機会を得ることができます。

経営の視点

- ▶ボランティアとの協力体制のもと、幅広い内容のおはなし会を展開することで、子どもが自身の可能性を広げる様々な本に出会うことができます。
- ▶本にふれあう活動が活性化します。

独自性の視点

- ▶市内各地の身近な場所で質の高いおはなし会等を展開できます。

学び続ける  
力の要素

本に触れ合う機会が増えて、興味関心の幅が広がり、より幅広い視野で学び続けることができます。

指標と工程表

活動指標	現 状 2022 年度	工程表				
		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
①市民向け絵本の読み聞かせ講座（基礎編、応用編、実践編）の開催回数		講座の実施				
指標の達成状況 ▶	3 回	3 回	3 回	3 回	3 回	3 回
②おはなし会ボランティアの新規登録者数		養成講座の実施				
指標の達成状況 ▶	0 人	5 人	5 人	5 人	5 人	5 人
③障がい者サービスボランティア養成講座の受講者数（再掲）		養成講座の実施				
指標の達成状況 ▶	18 人	10 人	10 人	10 人	10 人	10 人

この重点事業と  
連動して推進する  
関連事業

- ・基本方針Ⅰ－施策5-重点事業16「子ども・若者の読書活動の推進」 P79
- ・基本方針Ⅱ－施策3-重点事業23「多様な図書館サービスの提供」 P98

## 市立小・中学校児童・生徒への 電子書籍サービス利用ID付与について

町田市立図書館では、2022年10月から電子書籍サービスを開始し、市民の皆様から好評をいただいています。そこで、本サービスを学校でも導入することを検討し、つくし野小学校、木曽中学校に2023年3月に先行導入したところ多くの利用がありました。

その結果を踏まえ、授業や児童・生徒の読書支援に活用できるよう、全校の児童・生徒および教員を対象に電子書籍サービスの利用IDを付与します。

### 1 対象

市立小学校42校、市立中学校20校（計62校）の児童・生徒及び教員  
※つくし野小学校と木曽中学校は先行してID付与済み

### 2 利用可能なコンテンツ（2023年6月末時点）

資料総数：4,174点（年度末には8,000点）

【参考：資料総数のうち】

- ・ナレーション付き外国語電子書籍：185点
- ・同時アクセス可能書籍\*：児童書250点・中学生向け50点

※1つのコンテンツに、同時に複数のアカウントでアクセスが可能です。

### 3 スケジュール

8月中：教員による利用方法の確認

9月以降：教員による児童・生徒への説明及び利用の開始

### 【参考】先行導入（つくし野小学校・木曽中学校）結果

先行導入校での月別貸出冊数

	3月	4月	5月	6月	合計
つくし野小学校		428	1,239	602	2,269
木曽中学校	46	15	224	51	336
総計	46	443	1,463	653	2,605



## 鶴川図書館の再編に伴う市民協働型の運営について

公共施設再編後の鶴川図書館の姿について、再編を通じて公共空間としての新たな価値をつくるため、2019年度から地域との対話を進めてまいりました。

また、2021年2月、3月に実施したワークショップ「鶴川図書館再編後の姿を考える」では、多くの提案をいただきました。

これまでみなさまからいただいたご意見を踏まえ、市としての方向性をまとめましたので報告します。

### 1 現状と課題

#### <現状>

- ・来館者数や貸出冊数の減少
- ・スペースが狭く居心地が良くない
- ・コミュニティが形成されているというご意見
- ・UR都市機構による団地の建替計画
- ☛機能転換の機会がある

#### <課題>

- ・地域に必要な図書機能への再編
- ・コミュニティ機能の継続と強化
- ・多様化する地域ニーズへの対応力強化

#### <課題解決策>

鶴川図書館が地域のハブとなり、豊富な地域資源と結びつくことで、現在の取組の拡充や抱える課題の改善に繋がるのではないかと。

市民協働型運営の実現

### 2 市民協働型の運営後の姿

#### (1) コンセプト

- ・地域の地域による地域のための公共空間
- ・幅広い世代に欠かせない“本”を通じて人・まち・文化のハブとなる図書コミュニティ施設

(仮キャッチフレーズ)

- ①『地域のやってみたい、をカタチにする団地のタマリバ、市民図書室つるだん』愛称つるたま
- ②-本を通じて人・まち・文化をつなぐ- 「暮らしに寄り添う図書施設 つるかわライズ」

#### (2) 主な機能



地域が運営する  
図書コミュニティ施設

- ・興味深く、魅力的な本に出会える
- ・誰もが無料で借りられる
- ・目的や用事がなくても気軽に過ごせる
- ・地域のニーズに沿った蔵書の提供
- ・本を通じて、世代や地域を超えた多様な人と出会いつながることができる

- ・利用者やスタッフとの会話を生み出す
- ・多世代が交流できるきっかけの提供
- ・地域活動へのコーディネート
- ・まちの情報発信
- ・居心地の良い空間がある

- ・運営に参画する団体数等の増加
- ・地域住民の活躍の機会がある(雇用や活動、発表の機会など)
- ・自分の楽しみを探せる
- ・まちへの愛着がわく
- ・まちが好きになる

### 3 これからの方向性（案）

- ・鶴川図書館を民設民営の地域施設へ転換（2026年度を目途）
- ・公立図書館では実現できなかった物販や飲食など、商店街隣接の利点を最大限活かす
- ・地域が管理できる蔵書規模の図書機能と地域活動につなげるコミュニティ機能を提供
- ・町田市が運営費を補助（ボランティアベースではなくある程度の報酬が受けられることを想定）
- ・地域が設立する団体が運営することで、地域住民の活躍の機会を創出（雇用や活動、発表の機会など）

### 4 市民協働型の運営に伴う現在との機能比較

	現在	市民協働型の運営後	拡充or集約
図書機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立図書館の蔵書。幅広いジャンルを揃えている。</li> <li>・国会図書館や都立図書館、他自治体の図書館から取り寄せが可能。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域がほしい資料を自分たちで選んで揃える。</li> <li>・市立図書館の蔵書は置かない。ただし、予約した資料の受け渡しや団体貸出を利用して一定期間置くことは可能。</li> <li>・国会図書館や都立図書館、他自治体の図書館からの取り寄せは鶴川駅前図書館で実施。</li> </ul>	<p>拡充</p> <p>鶴川駅前図書館へ集約</p>
図書相談機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書案内、読書相談の実施。</li> <li>・利用者の調査・研究の支援（レファレンス）を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民や地域団体からのそれぞれのおすすめ本を紹介でき、多様な読書案内が可能。</li> <li>・レファレンスは鶴川駅前図書館で提供可能。</li> <li>・読書相談であれば人材を確保の上提供可能。</li> </ul>	<p>拡充</p> <p>鶴川駅前図書館へ集約</p>
居場所機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館内に数席の閲覧席がある。</li> <li>・会話は控え、静かに過ごす場所。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆとりある座席や居心地の良い空間を提供。</li> <li>・カフェ程度の会話ができる。</li> <li>・利用者同士やスタッフとの何気ない会話が生まれる。</li> </ul>	<p>拡充</p>
地域情報紹介 地域イベント開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の情報はレファレンスによって提供している。</li> <li>・イベントは直営でのみ実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分に合った地域の取組が何かを一緒に考えてくれる。</li> <li>・地域住民を地域の取組やイベントにつなげるコーディネイトを実施。</li> <li>・地域団体主催のイベントを中心に実施。</li> <li>・ICTなどを活用した情報発信により、情報にアクセスしやすくなる。</li> </ul>	<p>拡充</p>
飲食・物販	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蓋つきの飲み物は可能。食事は不可。</li> <li>・物販はしていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲食可能。イベントによっては、商店街の品物を使って昼食・夕食会を実施。</li> <li>・住民がつくった手作り品を販売。物販フリーボックスを配置</li> </ul>	<p>拡充</p>
地域の 運営への参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし会ボランティアなど限られた範囲で参加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた枠組みの中での参加ではなく、主体的にやってみようことを提案し、仲間と一緒に実現できる。</li> <li>・全体運営の中で、地域の声に合わせた柔軟な取り組みを試行できる。</li> </ul>	<p>拡充</p>

### 5 スケジュール（URによるセンター街区建替え説明会が2022年度に実施された場合を想定）

年度	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033
施設位置	現在地	現在地	現在地	現在地	現在地	現在地	仮設	仮設	仮設	仮設	仮設	新施設
運営形態	直営		直営 一部業務委託		自主運営（町田市が運営費を補助）							
蔵書規模	約49,000冊		規模の縮小 (時期は検討状況による)		地域が管理できる規模の蔵書数							
施設の位置づけ	図書館法上の図書館				地域施設（民設民営の図書コミュニティ施設）							

## 6 【参考】開始時の運営イメージ

